

Device Enrollment Program(DEP)

機能ガイド for iOS



改版履歴

改版No.	ページNo	変更内容	日時
1		制定	2015/9/30
2	10	項目名変更に伴う修正	2015/12/7
3	29	誤字修正	2016/8/3
4	全般	バージョンアップ対応に伴う画像や文言の変更	2016/9/27
5	39	画面レイアウト変更に伴う画像の変更	2016/12/21
6	17	「DEPトークンの有効期限について」の説明文を変更	2017/2/6
6	35	AppleサポートページのURLを変更	2017/2/6
7	8,30,35	iPod touch対応に伴う文言の修正	2017/4/27
8	30	旧端末のバックアップデータをDEP端末に復元する方法を追加	2017/6/14
9	37,38	iOS 11におけるアプリインストール手順を追加	2017/10/3
10	11,39,41	App StoreでAnクライアント（アプリ）をインストールする際の注意事項を追加	2018/3/19
11	8,17,20,60,62	Apple Business Manager（ABM）を使用したDEP利用登録手順に変更	2018/10/25
12	8	Apple Deployment Program から Apple Business Manager へのアップグレードの注意事項を追加	2018/11/26
13	17,62	ABM サイト上での手順変更に伴う改版	2019/4/5

announce

1. Device Enrollment Program(DEP)機能とは (p.4)

guide

1. DEP機能を利用する前に確認する (p.6)
 - 1-1 DEP機能の設定から運用までの流れ (p.7)
 - 1-2 DEP機能を利用する前に確認する (p.8)
 - 1-3 DEP機能を利用できる人を社内で決める (p.13)
2. LanScope AnとDEPを連携する (p.15)
 - 2-1 パブリックキー証明書をダウンロードする (p.16)
 - 2-2 MDMサーバを作成してDEPトークンをダウンロードする (p.17)
 - 2-3 DEPトークンを管理コンソールにアップロードする (p.19)
 - 2-4 作成したMDMサーバに端末を所属させる (p.20)
3. DEPプロファイルを割当てて端末をアクティベーションする (p.23)
 - 3-1 端末に対して部署などの情報を登録する (p.24)
 - 3-2 DEPプロファイルを作成する (p.29)
 - 3-3 端末にDEPプロファイルを割当てる (p.34)
 - 3-4 端末をアクティベーションする (p.36)
 - 3-5 端末のアクティベーションが完了したかを確認する (p.46)
4. その他DEP機能の運用方法について (p.48)
 - 4-1 一括リモートワイプを実行する (p.49)
 - 4-2 端末からDEPプロファイルの割当てを解除する (p.52)
/別のDEPプロファイルを割当てる (p.54)
 - 4-3 ABMサイトで変更・削除した情報を管理コンソールに反映する (p.55)
 - 4-4 DEPトークンを更新する (p.60)
 - 4-5 DEP利用規約が更新された場合に確認する (p.63)

お問い合わせ先 (p.64)

Device Enrollment Program(DEP) 機能とは？

1-1 Device Enrollment Program(DEP) 機能とは？

announce

1

Device Enrollment Program(DEP) 機能とは？

Device Enrollment Program(DEP)機能とは？

Apple Business Manager(ABM)の一環としてAppleから提供されている「**Device Enrollment Program (以下DEP)**」は、企業および教育機関でiOSデバイスを簡単に導入・構成できるようになるプログラムです。このDEPをLanScope Anに連携して利用すると、**端末利用開始時に自動的にLanScope Anの登録やインストールの実施ができるため、導入開始までにかかる工数を削減することができます。**そのほか以下の内容が実現可能です。

1. 端末の利用を開始する際に行うアクティベーションが簡素化できます。
2. iOS端末管理の幅を広げるために欠かせない「監視モード」を、Apple ConfiguratorとのUSB接続なしに一括で設定できます。
3. 端末管理に必要な「An構成プロファイル」を、端末に一括インストールできます。
4. 端末管理に必要な「An構成プロファイル」を端末利用者に削除させない運用が可能になります。

この手順書では、DEPとLanScope Anの連携方法・設定方法についてご案内します。

※本機能はiOSを管理する場合のみご利用いただけます。

DEP機能を利用する前に確認する

DEP機能を利用する前に、設定から運用までの流れや、必要な環境を確認します。

- 1-1 DEP機能の設定から運用までの流れ
- 1-2 DEP機能を利用する前に確認する
- 1-3 DEP機能を利用できる人を社内で決める

guide

1

DEP機能の設定から、運用までの流れは次のとおりです。

● DEPとAnを連携する

1. ABMサイトにパブリックキー証明書をアップロードする
2. ABMサイトでDEP端末の組織を構成する
3. DEPトークンを入手して、管理コンソールにアップロードする

● DEPプロファイル(端末のアクティベーションルールが含まれるファイル)を作成して、端末をセットアップする

4. DEPプロファイルを作成して、端末に割り当てる
5. 端末を起動して、端末のアクティベーションをする
 - * 作成したDEPプロファイルにしたがって、いくつかのアクティベーション項目が自動的にスキップされます。スキップされない項目は、手動で設定します。
 - * 端末管理に必要なLanScope Anのプログラムである「An構成プロファイル」が自動的にインストールされます。管理コンソールの設定によっては「Anクライアント(アプリ)」「Anクリップ」が自動的に配信されます。Anクライアント(アプリ)は手動で登録する必要があります。
 - * そのほかDEPプロファイルで設定した内容が有効化されます。
6. アクティベーションが完了したか、管理コンソールから確認する

管理コンソールから、すべての端末のアクティベーションが完了したことを確認できれば完了です。端末の管理に必要なLanScope Anのプログラムはすでにインストールされているため、すぐに端末の管理を開始できます。



DEP機能を利用する前に確認する

1-2

DEP機能を利用する前に必要な情報を確認します。

● DEPについて

DEPはAppleより提供されているサービスです。DEPをLanScope Anと連携して利用する前に、別途AppleとDEPの利用契約を結ぶ必要があります。**あらかじめ利用のご契約をお願いします。**（※1）

DEPに登録できる端末は、Appleから直接、もしくはDEPプログラムに参加しているApple正規取扱店や通信事業者から購入したiPhone・iPad・iPod touchのみです。（※1）

DEPに登録するには、Apple IDが必要です。事前にApple IDのアカウントをご用意ください。次に、Apple Business Manager サイト（<https://business.apple.com>）にログインし、利用登録を行う必要があります。

利用登録に必要な情報は、以下の通りです。

組織名・会社DUNSナンバー・電話番号・Webサイト・タイムゾーン・言語
詳細（姓名・勤務先メールアドレス・担当／役職名
確認用連絡先（姓名・勤務先メールアドレス・担当／役職名

※1 弊社で動作確認した内容をもとに概要を記載しています。プログラムの契約方法、端末の購入方法、詳細手順につきましてはApple社のヘルプページをご覧ください。Apple社にお問い合わせください。

▼Apple Business Manager ヘルプページ

<https://help.apple.com/businessmanager/?lang=ja-jp#/>

すでにApple Deployment ProgramsからDEP登録を行っている場合

Apple Deployment Programsへログインすると、Apple Business Managerへのアップグレードの案内が表示されます。アップグレードの手順については、マニュアル『Apple Business Managerアップグレードガイド』を参照して、アップグレードを行ってください。

● 通信環境・対応OSについて

対応している通信環境および対応OSは次のとおりです。

- ・管理対象端末の通信環境
 - ・インターネットに接続できる環境
 - ・次のポートと通信を行います。
APNs (Apple Push Notification Service) による通信 (port : 5223)
- ・管理対象端末の対応OS
 - ・**iOS 7.0 ~**
※上限はLanScope Anにおける最新のiOS対応バージョンと同じです。

● 端末登録について

DEP機能を利用してLanScope Anに管理対象端末の登録を行う場合は「スタートアップガイド for iOS」に記載されている手順のうち、[管理設定]-[端末登録設定]画面で新規に登録設定を追加する必要はありません。この手順書にしたがって登録すると、[管理設定]-[DEP端末設定]-[DEP端末一覧タブ]に端末の登録情報が表示されます。

● LanScope Anのライセンスについて

DEP機能を利用して端末を登録する際、持っているLanScope Anのライセンス数を超えて登録することはできません。端末側で、An構成プロファイルのインストールに失敗します。**必ず残りライセンス数を確認してから登録(端末のアクティベーション)を行ってください。**

なお、利用中のライセンス数は管理コンソールの[管理設定]-[端末登録設定]-[iOSタブ]を開いて、左上の「登録済み端末」から確認できます。



残りライセンス数が足りない場合は、LanScope Anのライセンスを追加でご購入頂くか、不要な端末を管理コンソールから削除することでライセンスを確保できます。端末を管理コンソールから削除したい場合は、[管理設定]-[組織情報変更]-[変更]ボタンより「組織情報の変更」を開き、該当の端末を選択した状態で「削除」ボタンをクリックしてください。（※2）

※2 「組織情報の変更」から端末を削除すると、それまでに取得していた該当の端末の情報がすべて削除されます。情報を残しておきたい場合は、各画面からエクスポートするか、[個人設定]-[ログ一括出力設定]および[ログ出力・ダウンロード]よりエクスポートしてください。手順の詳細は「ユーザズガイド for iOS」を確認してください。

● LanScope Anの利用に必要なプログラムについて

LanScope Anでは、最大で3つのプログラムを端末にインストールする必要があります。

■ 必須：

- ①An構成プロファイル

■ 位置情報取得/メッセージ・アンケート/端末のJailbreak検知/端末使用者への設定情報開示機能を利用する場合のみ必要：

- ②Anクライアント(アプリ)
- ③Anクリップ(Anクライアントを登録するためのファイル)

①は必須プログラムで、DEP機能を利用すると端末のアクティベーション中に自動的にインストールされます。

②と③は上記機能を利用する場合のみ必要なプログラムです。端末のアクティベーション(p.36)後、端末に自動配信したい場合は事前に設定が必要です。次の手順を確認してください。

1. 上部メニューから「管理設定」メニューを選択し「ログ取得設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 右上のタブを「iOS」に切り替えます。
4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「ログ取得設定の作成(変更)」が開きます。
※部署別設定を未作成の場合のみ「新規」を選択できます。
5. 次の4項目にチェックを入れます。



- ・インストールアプリ情報を取得する
- ・プロファイル情報を取得する
- ・LanScope An Clientを登録するために必要な「Anクリップ」を配信する
- ・LanScope An Clientを配信する

6. 「OK」をクリックして設定を保存します。

※この設定はアクティベーション後に実施しても問題ありません。その場合は設定してから12時間以内にAnクライアント(アプリ)とAnクリップが配信されます。

※配信されたあとの端末側での操作手順は「3-4 端末をアクティベーションする」(p.36)を参照してください。



◆ポイント

前ページの設定を実施すると、**端末のアクティベーション後**に右の画面が表示されますので、「インストール」ボタンをタップして登録作業を行う必要があります。

端末側に右の画面を表示させず、端末利用者に各自のタイミングでAnクライアントをインストールしてもらいたい場合は、前ページ項番5で「LanScope An Clientを配信する」のチェックを入れないでください。(※)

かわりに次の**どちらかの方法**で「LanScope An Client(Anクライアント)」をインストール・登録するよう案内してください。

A.App Storeから「LanScope An Client」をインストールして「3-4 端末をアクティベーションする - ◆端末をアクティベーションする」(p.36)の手順に従って登録するように別途案内する。

▼LanScope An Client(アプリ)のURL - App Store

https://itunes.apple.com/jp/app/jp.co.motex.lanscope_an.ios/id852951232

※注意事項

App Storeからインストールする時は「LanScope An Client Ver.3」ではなく、必ず「LanScope An Client」をインストールしてください。アプリアイコンは右図【Anクライアントインストール画面】になります。



【Anクライアントインストール画面】



◆ポイント

B.「メール通知」機能を利用して、端末利用者に上記URLとインストール・登録の手順を通知する。

本機能を利用するには、各端末のメールアドレスをAn管理コンソールに登録してから、端末をアクティベーションする必要があります。「3-1 端末に対して部署などの情報を登録する」(p.24)を実施する際に「通知先メールアドレス」を設定してください。

アクティベーション完了後、「メール通知」機能を利用して、端末に上記URLとインストール・登録の手順を通知してください。詳細な手順は「3-4 端末をアクティベーションする - ◆端末をアクティベーションする」(p.36)を参照してください。

※「プロフィール情報を取得する」「LanScope An Clientを登録するために必要な“An クリップ”を配信する」の2項目は必ず設定してください。Anクライアントを登録するために必要な「Anクリップ」(App Storeから入手できません)を配信するために必要です。なお「Anクリップ」は右画面のような通知なしにインストールされ、ホーム画面上にアイコンが表示されます。



DEP機能を利用できる人を社内で決める

1-3

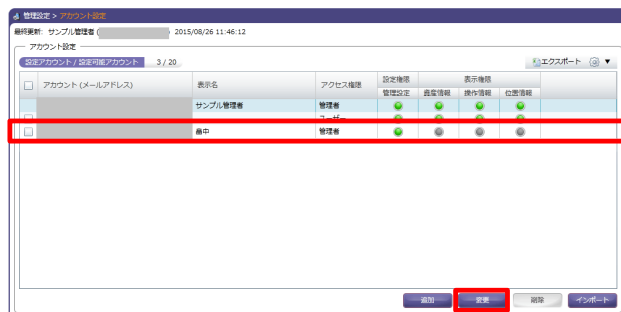


DEP機能を利用するための権限を、管理コンソールへのログインアカウントに付与します。

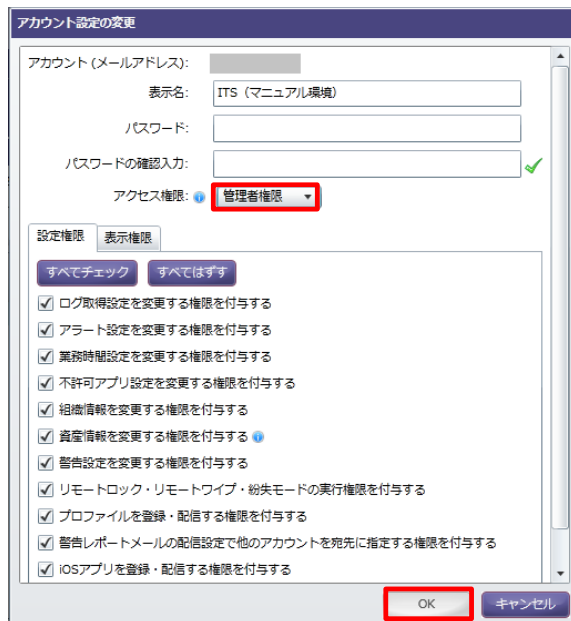
1. 管理者権限のアカウントで管理コンソールにログインし、「管理設定」メニューを選択して「アカウント設定」をクリックします。

※ユーザー権限のアカウントの場合「アカウント設定」メニューが表示されません。

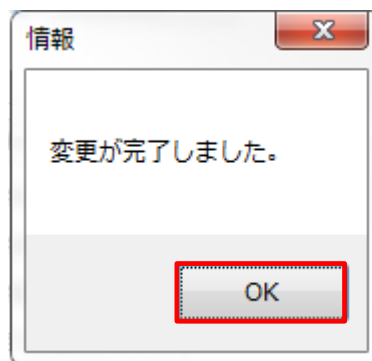
2. DEP機能を利用できる権限を付与したいアカウントの行を選択した状態で「変更」をクリックします。



3. 「アカウント設定の変更」が開きますので「アクセス権限」のプルダウンから「管理者権限」を選択して「OK」をクリックします。



4. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



◆ポイント

新しくアカウントを作成したい場合

次の方法で作成します。なお、作成可能なアカウント数は、保有ライセンス数によって異なります。アカウント一覧の左上にある「設定アカウント／設定可能アカウント」から確認してください。

1. 管理者権限のアカウントで管理コンソールにログインし、「管理設定」メニューを選択して「アカウント設定」をクリックします。
※ユーザー権限のアカウントの場合「アカウント設定」メニューが表示されません。
2. アカウント(メールアドレス)・表示名・パスワード・アクセス権限を設定します。
※アクセス権限について、DEP機能を利用する場合は「管理者権限」を選択してください。管理者権限の場合、ほかにも【アカウント設定/端末登録設定/アンインストール防止設定/パスワードポリシー設定(iOS・Androidのみ)/ロガー括出力設定確認/メール配信設定確認】の閲覧・設定が可能です。
3. 「設定権限」タブで閲覧や設定の権限を付与したい機能にチェックを入れ、「表示権限」タブで表示する部署の範囲を設定し「次へ」をクリックします。
4. 「通知内容の設定」が開きます。必要に応じて「追加するアカウント宛にメールを送信する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。
※メールを送信しない場合は「OK」をクリックして完了です。
5. 「件名」「本文」を編集し「次へ」をクリックします。
6. 「通知内容のプレビュー」を確認し、問題がなければ「OK」をクリックします。
追加したアカウントのメールアドレス宛てに、アカウント追加のお知らせメールが送信されます。

LanScope AnとDEPを連携する

LanScope AnとDEPの連携設定を行い、DEP機能が利用できるようにします。

- 2-1 パブリックキー証明書をダウンロードする
- 2-2 MDMサーバを作成してDEPトークンをダウンロードする
- 2-3 DEPトークンを管理コンソールにアップロードする
- 2-4 作成したMDMサーバに端末を所属させる

guide

2

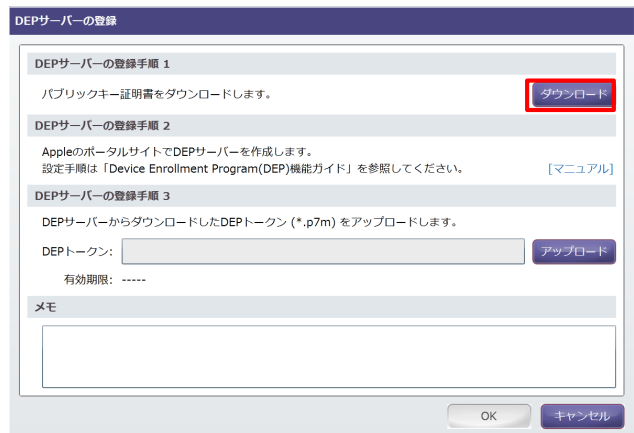
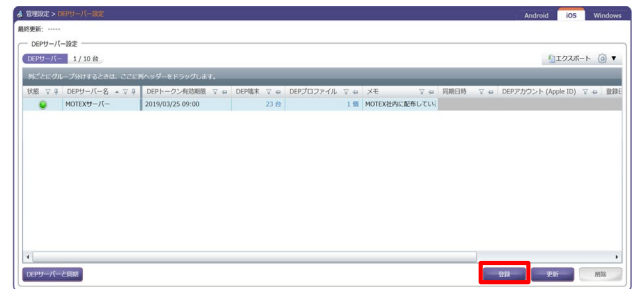
パブリックキー証明書をダウンロードする

2-1

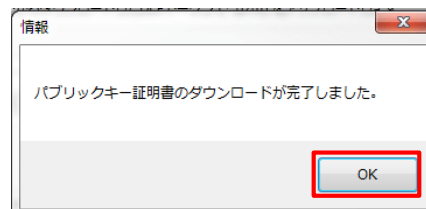


DEPを連携するために必要なLanScope Anのパブリックキー証明書を、管理コンソールからダウンロードします。

1. 管理コンソールにログインし、「管理設定」メニューを選択して「DEPサーバー設定」をクリックします。
2. 「登録」をクリックします。
3. 「ダウンロード」をクリックして、パブリックキー証明書を任意の保存先に保存します。拡張子は【.pem】です。



4. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



MDMサーバを作成してDEPトークンをダウンロードする

管理コンソールからダウンロードしたパブリックキー証明書をABMサイト（Apple Business Manager サイト）にアップロードして、MDMサーバを作成し、DEPトークンをダウンロードします。

1. ABMサイト（<https://business.apple.com>）にアクセスし、サインイン・本人確認を実施します。
2. サイドバーから「設定」をクリックして「デバイス管理の設定」より「MDM サーバを追加」をクリックします。
3. MDMサーバの名前（任意）を入力します。
4. 「MDMサーバがデバイスを解除することを許可します」にチェックを入れる、または外します。

※MDMサーバは、管理者が管理しやすい任意の組織単位で作成します。会社・教育機関で1つ作成しても、部門ごとに作成してもかまいません。ただしMDMサーバを複数作成する場合、サーバごとにパブリックキー証明書のアップロード、DEPトークンのアップロード、DEPトークンの更新（1年ごと）が必要です。LanScope Anで管理できるMDMサーバの上限は10台です。

「MDMサーバからデバイスを解除することを許可します」について

本機能は、LanScope An では対応していません。チェックの有無にかかわらず、LanScope An でDEP を利用することが可能です。

5. 「ファイルを選択」をクリックして、ダウンロードしたパブリックキー証明書を選択します。完了したら「保存」をクリックします。
6. 作成したMDMサーバを選択し、「トークンをダウンロード」をクリックし、「サーバトークンをダウンロード」をクリックしてDEPトークンを任意の場所にダウンロードします。拡張子は【.p7m】です。完了したら「完了」をクリックします。

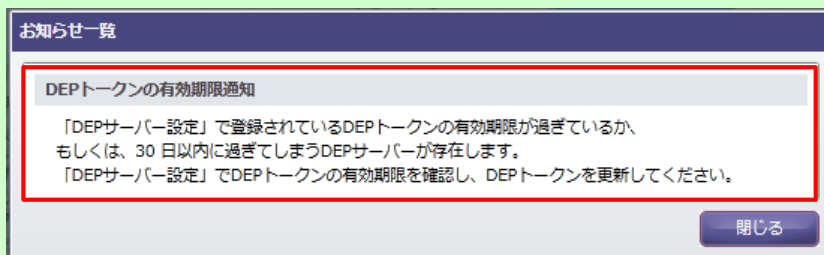
購入したデバイスを自動的にMDMサーバに割り当てる機能について

今後、購入したデバイスを、注文処理完了後に、指定したMDMサーバに所属させる場合、ABM サイト上でMDMサーバを選択し【編集】をクリックし、「デフォルトサーバ」という設定項目で機種毎に選択します。尚、LanScope Anでは、iPad・iPhone・iPod touchに対応しています。Apple TV、Macは対応していません。

◆ポイント

- DEPトークンの有効期限について

DEPトークンの有効期限は、DEPトークンを作成してから1年間です。有効期限が近づくか、有効期限が切れると、管理コンソールへのログイン直後に次の画面が表示されますので、期限が切れる前に更新する必要があります。

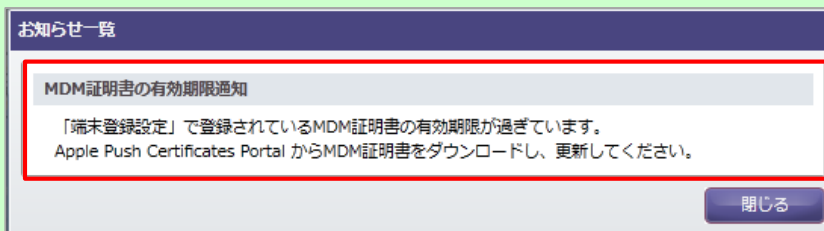


有効期限が切れた場合、DEP端末をアクティベートしても、LanScope Anへの端末登録（An構成プロファイルのインストール）を含むDEP機能の設定が端末に反映されません。

詳細な更新手順については「4-4 DEPトークンを更新する」(p.60)を参照してください。

- MDM証明書の有効期限について

MDM証明書の有効期限は、MDM証明書を作成してから1年間です。有効期限が近づくか、有効期限が切れると、管理コンソールへのログイン直後に次の画面が表示されますので、期限が切れる前に更新する必要があります。



有効期限が切れた場合、DEPプロファイル(端末のアクティベーションルールが含まれるファイル)を端末に割り当てることができず、DEPプロファイルの作成ができません。

MDM証明書の詳細については、「スタートアップガイド for iOS」を参照してください。

DEPトークンを管理コンソールにアップロードする

ABMサイトからダウンロードしたDEPトークンを管理コンソールにアップロードします。作成したMDMサーバの情報が管理コンソールに反映されます。

1. 「2-1 パブリックキー証明書をダウンロードする」の項番3で開いた「DEPサーバーの登録」画面で「アップロード」をクリックします。
2. ABMサイトからダウンロードしたDEPトークン (*.p7m) を選択して、「OK」をクリックします。

3. 「DEPサーバ設定」にDEPトークンをアップロードしたMDMサーバが反映されていることを確認します。

MDMサーバを複数台登録する場合は、「登録」をクリックして、同じ要領でMDMサーバの登録を繰り返します。

DEPサーバ名	DEPトークン有効期限	DEP端末	DEPプロファイル	メモ
MOTEXサーバ	2019/03/25 09:00	23 日	1 個	MOTEX社内にて配布している

作成したMDMサーバに端末を所属させる

2-4

購入したDEP端末を、作成したMDMサーバに所属させます。MDMサーバに所属させることでDEP機能が利用できるようになります。

この章では、2段階にわけて説明します。

- ◆AppleのABMサイトで端末をMDMサーバに所属させる
- ◆ABMサイトで編集した内容を管理コンソールに反映する

◆AppleのABMサイトで端末をMDMサーバに所属させる

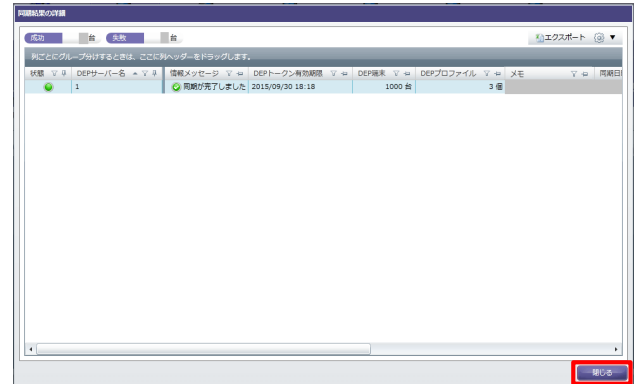
1. AppleのABMサイトにアクセスしてサインイン・本人確認を実施します。

▼ABMサイトURL

<https://business.apple.com>

2. サイドバーの「デバイスの割り当て」をクリックします。
3. 「1. デバイスの選択」で、デバイスの割り当て方法を以下のいずれかから選択します。
 - ・シリアル番号
MDMサーバへの割り当てを行いたい端末に付与されている「シリアル番号」を入力します。カンマで区切ることで、複数の端末を一度に割り当てることができます。
 - ・注文番号
端末の注文番号を入力します。購入したすべての端末を一度に割り当てることができます。
 - ・CSVファイルをアップロード
登録したい端末のシリアル番号を記入したCSV（カンマ区切り）ファイルをアップロードします。多くの端末をシリアル番号で登録したい際に便利です。
4. 「2. 操作の選択」で「サーバに割り当てる」を選択し、割り当てる「MDMサーバ」を選択し、「完了」をクリックします。
5. 「割り当てが完了しました」というダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。

5. 同期の結果を確認して「閉じる」をクリックします。



◆注意

「一部のDEP端末でエラーが発生しました。(xxxxxxxxxx)」と表示される場合

→該当の端末が、別環境(体験版など)の管理コンソールにDEP端末として同期されているために発生している可能性があります。旧環境の管理コンソールでDEP端末を削除してから、新しい環境の管理コンソールで同期を行う必要があります。

▼手順

- 1.ABMサイト上で、該当DEP端末の、DEPサーバー(MDMサーバ)への所属を解除します。
※削除ではありません。
- 2.旧環境の管理コンソールで1.のDEPサーバーの情報を同期したあと、管理コンソールから該当のDEP端末の情報を削除します。
※同期・削除手順の詳細は「4-3 ABMサイトで変更・削除した情報を管理コンソールに反映する - ◆DEPサーバーを削除した場合」(p.55)を参照してください。
- 3.ABMサイト上で、該当DEP端末をDEPサーバー(MDMサーバ)に再度所属させます。
- 4.新環境の管理コンソールで3.のDEPサーバーの情報を同期します。

DEPプロファイルを割当てて 端末をアクティベーションする

DEPプロファイル(端末のアクティベーションルールが含まれるファイル)を作成して端末に割当ててから、端末のアクティベーションを開始します。アクティベーションを開始すると、割当てたDEPプロファイルが読み込まれ、その内容に沿ってアクティベーションを実行することができます。

- 3-1 端末に対して部署などの情報を登録する
- 3-2 DEPプロファイルを作成する
- 3-3 端末にDEPプロファイルを割当てる
- 3-4 端末をアクティベーションする
- 3-5 端末のアクティベーションが完了したかを確認する

guide

3

端末に対して部署などの情報を登録する

3-1



端末に対して、名前(使用者)、端末名、部署、通知先メールアドレスなどの情報を登録します。情報を登録することで各端末が識別できるようになり、管理コンソール上で管理しやすくなります。

この章では、2つのパターンを説明します。いずれかの方法で情報を追加してください。

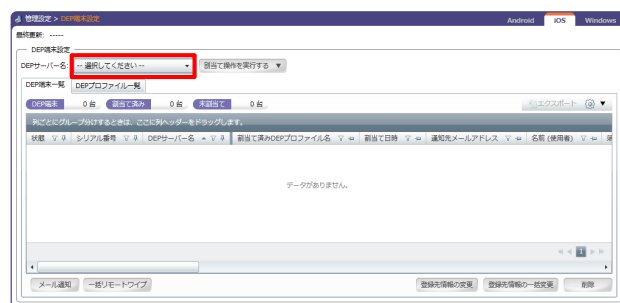
- ◆DEP端末1台ずつの情報を登録する場合
- ◆複数のDEP端末の情報を一括で登録する場合

◆DEP端末1台ずつの情報を登録する場合

1. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバー名」のプルダウンから、情報を登録したい端末が所属しているDEPサーバーを選択します。

◆注意

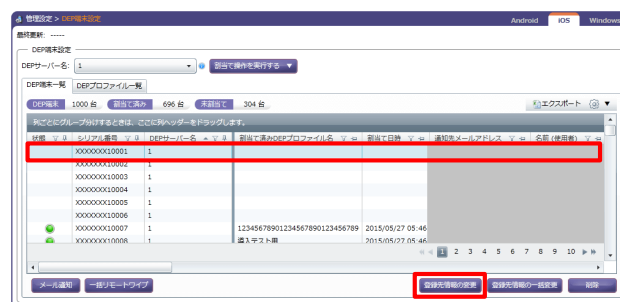
すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。



3. 情報を登録したい端末を選んだ状態で、「登録先情報の変更」をクリックします。

◆ポイント

「シリアル番号」をもとに、どの情報がどのDEP端末に紐づくのかを確認してください。



4. 情報を入力します。

- ・通知先メールアドレス

Anクライアント(アプリ)を端末に自動配信したくない場合(p.11)で、「メール通知」機能を利用してAnクライアントのインストールURLと登録手順を通知したい場合は、通知先メールアドレスを入力します。設定するメールアカウントの制限等はありません。

- ・名前(使用者)

端末の利用者名を入力します。

- ・端末名

「自動」「手動」のいずれかを選択してください。

- ・自動にした場合：

端末名が「製品名_10桁のNo」で設定されます。

- ・手動にした場合：

手動で入力した内容が資産情報一覧画面に反映されます。

- ・部署1～5

この端末を所属させる部署を入力します。入力しなかった場合は[管理設定]-[組織情報変更]で編集することが可能です。

※「組織情報変更」設定手順については、「LanScope Anユーザーズガイド for iOS」を参照してください。

登録先情報の変更

登録手順の通知

通知先メールアドレス:

[通知先メールアドレス]はLanScope An Clientの登録手順を端末使用者にメールで通知する際の宛先として使用します。

管理端末の情報

シリアル番号:

名前(使用者):

端末名: ☒ 自動 ☐ 手動:

部署: (ネットワーク全体)

部署1:

部署2:

部署3:

部署4:

部署5:

OK キャンセル

5. 「OK」をクリックします。

◆複数のDEP端末の情報を一括で登録する場合

各DEP端末の情報をExcelファイル上で入力し、管理コンソールにインポートします。

1. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバー名」のプルダウンから、情報を登録したい端末が所属しているDEPサーバーを選択します。

◆注意

すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。

3. 「エクスポート」をクリックして、ひな形となるExcelファイルをダウンロードします。
4. Excelファイルをひらき、各項目を入力して上書き保存します。保存できれば、開いているExcelファイルを閉じます。

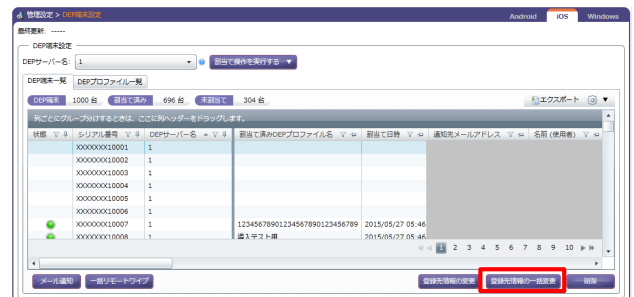
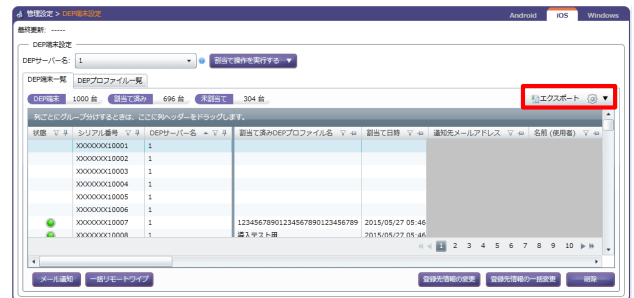
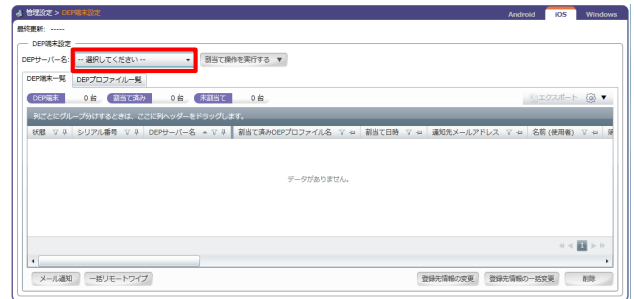
【編集可能な項目】

- ・通知先メールアドレス
- ・名前(使用者)
- ・端末名
- ・部署1～5

※項目の詳細はp.25を参照してください。

※シリアル番号は必須項目です。書き換えたり削除したりしないでください。

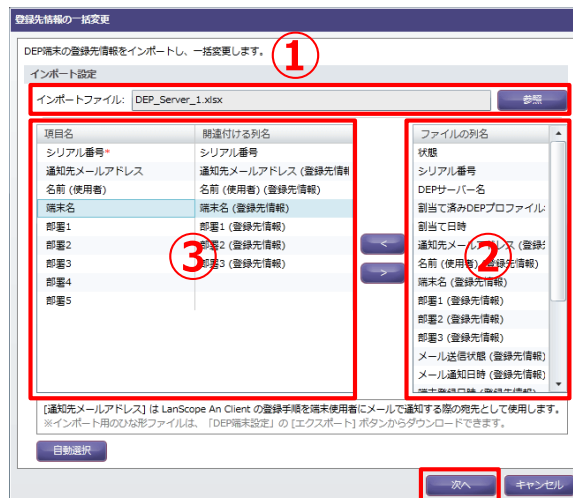
5. 2.の画面に戻って「登録先情報の一括変更」をクリックします。



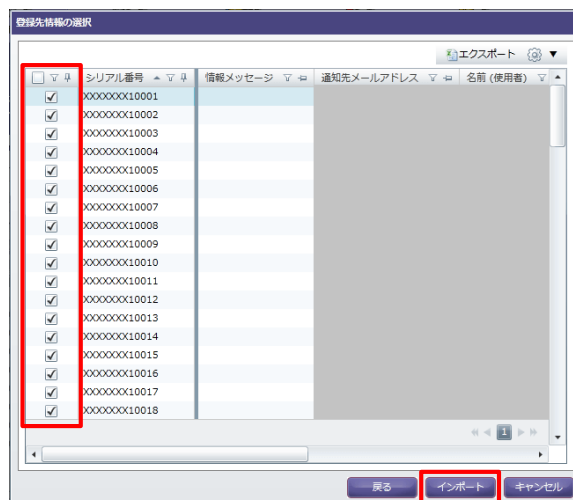
6. 「参照」をクリックし、インポートしたいExcelファイルを選択するとファイル名が①に表示されます。読み込んだファイルの1行目の項目が②の「ファイルの列名」に表示されます。

7. 「<」「>」ボタンで②のそれぞれの項目を③の関連付ける列名に移動させます。
※「自動選択」をクリックすると、自動で③の項目名と同じ名前の行が②から選ばれ、③の「関連付ける列名」に追加されます。

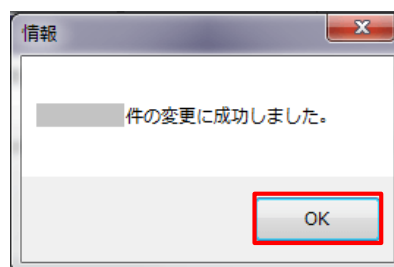
②と③の関連付けが完了したら「次へ」をクリックします。



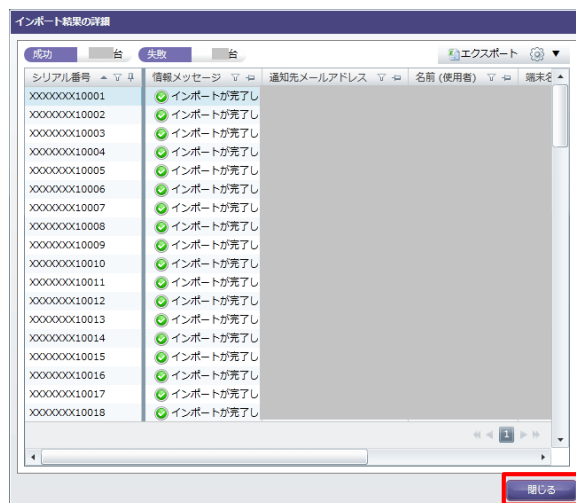
8. インポートする情報にチェックを入れて「インポート」をクリックするとインポートが開始されます。



9. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



10. インポート結果を確認して「閉じる」をクリックします。



DEPプロファイルを作成する

3-2



端末のアクティベーションのルールを定めて、DEPプロファイルを作成します。

1. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバー名」のプルダウンから、プロファイルを割当てたい端末が所属しているDEPサーバーを選択します。

◆注意

すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。

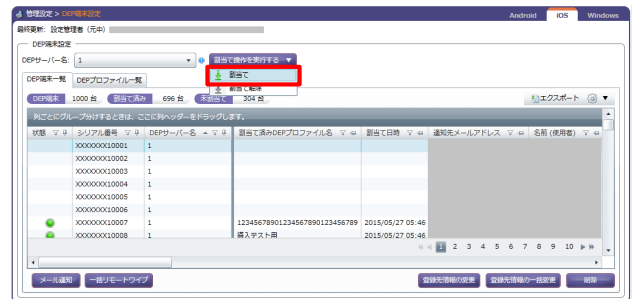


3. 「割当て操作を実行する」をクリックして「割当て」をクリックします。

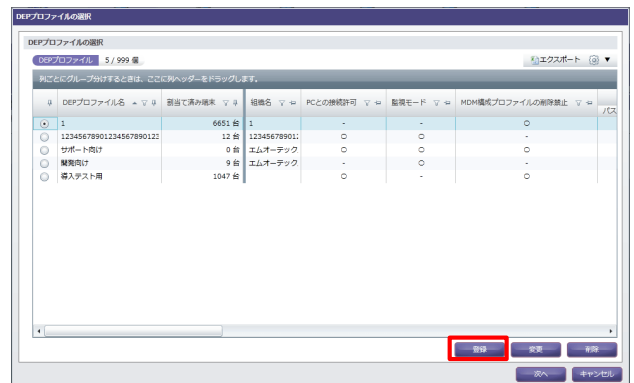
◆注意

MDM証明書を管理コンソールにアップロードしていない場合、または、アップロードしたMDM証明書の有効期限が切れている場合は割当てできません。

MDM証明書についての詳細は、「スタートアップガイド for iOS」を参照してください。



4. 「登録」をクリックします。



5. 各項目を設定します。完了したら「OK」をクリックします。
※ここで設定した内容にしたがって、各端末のアクティベーションを実施できます。

・ **DEPプロフィール名/説明：**

任意の情報を入力します。管理コンソール上での表示にのみ影響します。

・ **組織名：**

任意の組織名を入力します。アクティベーション時に端末側に表示される「設定アシスタント画面」に組織名が表示される箇所があります。

・ **PCとの接続を許可する：**

チェックを外すと、端末をUSBケーブルでPCに接続して情報を同期することができなくなります。

※Appleの仕様により、ワイヤレス(Wi-Fi経由)での接続は制限できません。

・ **監視モードに設定する：**

端末を「監視モード」に設定したい場合はチェックを入れます。「監視モード」はiOSの機能です。設定すると、An構成プロフィールの削除を禁止したり、Apple Configuratorで構成プロフィールを作成する際に、より高度な設定を組み込んだりすることが可能になります。
※構成プロフィールの配信方法については「プロフィール管理ガイド for iOS」を参照してください。

・ **MDM構成プロフィールの削除を禁止する：**

(Anで端末を管理する上で必須プログラムである)An構成プロフィールの削除を禁止したい場合は、チェックを入れます。端末を「監視モード」に設定しなければ設定できません。

DEPプロフィールの登録

DEPプロフィール情報

DEPプロフィール名: 営業部向け

説明: 営業部に配るiPhone用

組織名: 〇〇〇株式会社

※「組織名」は、アクティベーションの途中でDEP端末に表示されます。

DEP端末の設定

☒ PCとの接続を許可する

☒ 監視モードに設定する

☒ MDM構成プロフィールの削除を禁止する

設定アシスタントでスキップさせる設定項目

すべてチェック すべてはずす

☒ パスコード ☒ Touch ID

☒ 位置情報サービス ☒ Apple Pay

☒ 復元 ☒ ズーム

☒ Apple ID ☒ Siri

☒ 利用規約 ☒ App 解析

DEP端末のアクティベーションを行った際に、このDEPプロフィールが自動的に配信されます。
設定アシスタントに従いDEP端末を構成することで、LanScope An へのMDM登録と LanScope An Client の配信が自動的に行われます。
※LanScope An Client を配信するためには、「ログ取得設定」の「LanScope An Client を配信する」を ON に設定しておく必要があります。

OK キャンセル

・設定アシスタントでスキップさせる設定項目：

設定アシスタントとは、端末をアクティベーションする際に表示される画面を指します。スキップしたい項目にチェックをいれることで、アクティベーションの工数を削減できます。

設定アシスタントで表示される一部の画面イメージについては、Appleのサポートページを参照してください。

▼Apple サポート 公式サイト

<https://www.apple.com/jp/support/>

※ 項目「復元」について

機種変更前の端末(旧端末)のバックアップデータを新しい端末(DEP端末)に復元する場合、復元方法によって設定が異なります。【旧端末のバックアップデータをDEP端末に復元する方法】を参照してください。

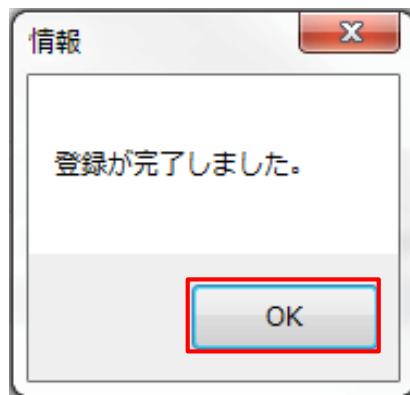
【旧端末のバックアップデータをDEP端末に復元する方法】

	iTunesから復元する場合	iCloudから復元する場合
①管理コンソールでの設定	<p>「復元」にチェックを入れ、設定アシスタントをスキップさせる設定にする。</p> <p>※チェックを入れなかった場合、アクティベーション時に「iPhone(iPad)を設定」という画面で「新しいiPhone(iPad)として設定」を選択してください。</p>	<p>「復元」のチェックを外し、設定アシスタントを表示させる設定にする。</p> <p>※「iCloudバックアップから復元」はアクティベーション時のみ選択できます。</p>
②端末での操作	<p>端末をアクティベーションした後にiTunesから復元する。</p>	<p>端末のアクティベーション時に表示される「iCloudバックアップから復元」を選択し、復元する。</p>

※iTunesの【データを暗号化しない】設定でバックアップを取得した後、バックアップデータを復元した場合、LanScope Anをご利用できません。そのため【データを暗号化する】設定でバックアップデータを取得してください。

※上記は弊社で動作確認を行った内容に基づきます。Appleによる仕様の変更やOSバージョンなどによって、実際の動作と異なる場合がございます。

6. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



このままDEPプロファイルを割当ててる場合は、作成したDEPプロファイルのラジオボタンを選択して「次へ」をクリックします。以降の手順は「3-3 端末にDEPプロファイルを割当ててる」(p.34)を確認してください。

一旦メインメニューに戻る場合は「キャンセル」をクリックします。「変更内容は破棄されます。よろしいですか？」というダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。

◆ポイント

・ 手順5で設定した内容を後から変更したい場合の手順について

手順5で設定した内容を端末に適用したあとで、設定内容を変更したい場合は、新しくDEPプロファイルを作成して該当端末に割当て、再度端末をアクティベーションする必要があります。

例) 監視モードが「有効」になっている端末の設定を「無効」にしたい場合は、「監視モード」の設定項目が「無効」になっているDEPプロファイルを新規作成して、該当端末に割当てたあと、端末をワイプして(工場出荷状態に戻して)アクティベーションしなおします。

詳細手順については「4-2 端末からDEPプロファイルの割当てを解除する/別のDEPプロファイルを割当てる - ◆端末に別のDEPプロファイルを割当てる」(p.54)を参照してください。

・ An構成プロファイルの削除について

「MDM構成プロファイルの削除を禁止する」設定を含んだDEPプロファイルを割当ててアクティベーションした端末からは、An構成プロファイルを手動でアンインストールできません。An構成プロファイルがインストールされていない状態に戻したい場合は、該当端末へのDEPプロファイルの割当てを解除して、端末をワイプする必要があります。

- ・ DEPプロファイルの割当てを解除する方法は「4-2 端末からDEPプロファイルの割当てを解除する/別のDEPプロファイルを割当てる - ◆DEPプロファイルの割当てを解除する」(p.52)を参照してください。
- ・ 端末をワイプしたい場合は「一括リモートワイプ」機能を利用する(p.49)か、iOS端末の[設定]-[一般]-[リセット]-[すべてのコンテンツと設定を削除]から、端末を工場出荷状態に戻してください。
※端末のすべてのデータが削除されます。必要に応じて端末のバックアップを取得してください。

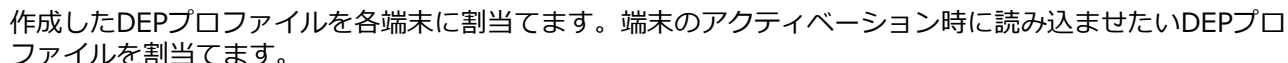
・ DEPプロファイルの一覧について

[管理設定]-[DEP端末設定]でタブを「DEPプロファイル一覧」に切り替えることで、選択しているDEPサーバーに割当てられているプロファイルを確認できます。

「DEPプロファイルの変更」をクリックすると、管理コンソール上に表示される「説明」のみ編集することができます。



3-3



5. 選択したDEPプロファイルを割当てたい端末にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

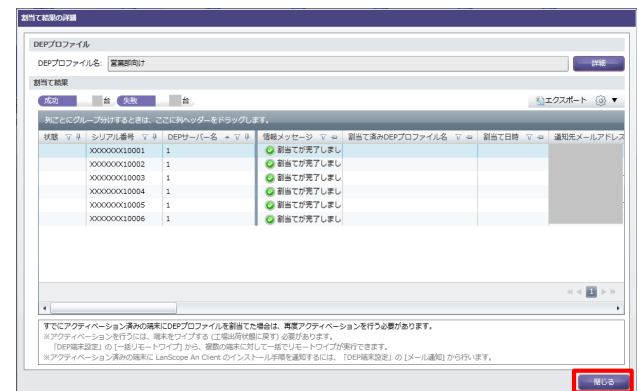
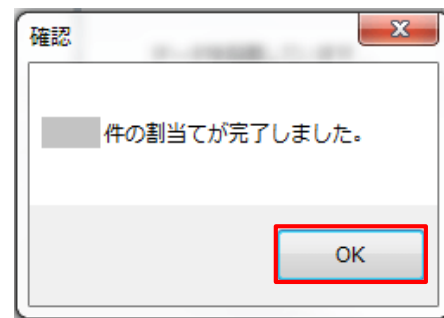
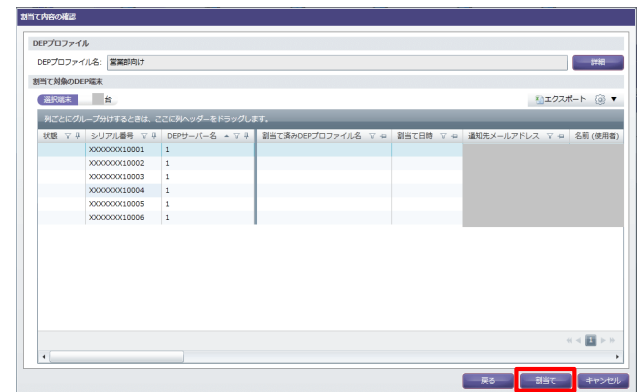
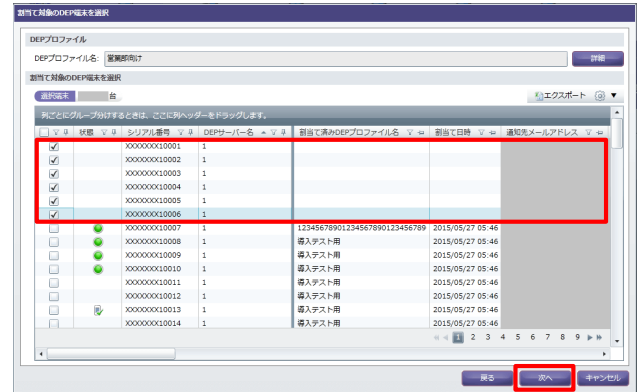
◆注意

まずは数台に割当てて動作確認を実施してから、全台に割当ててをおすすめします。

6. 「割当て内容の確認」が開きます。内容に問題がなければ「割当て」をクリックします。

7. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。

8. 割当てが成功したことを確認して「閉じる」をクリックします。



端末をアクティベーション(初期設定)します。アクティベーション開始時に、端末に割当てたDEPプロファイルが読み込まれ、その内容に沿って端末をアクティベーションできます。

この章では、2段階にわけて説明します。

- ◆ 端末をアクティベーションする前に確認する
- ◆ 端末をアクティベーションする

◆ 端末をアクティベーションする前に確認する

● 「すでにアクティベーション済みの端末」にDEPプロファイルを割当てた場合

→再度アクティベーションを行う必要があります。

DEPプロファイル(端末のアクティベーションルールが含まれるファイル)は、端末のアクティベーション時に読み込まれます。したがって、すでにアクティベーション済みの端末にDEPプロファイルを読み込ませてアクティベーションしたい場合は、端末をワイプして(工場出荷状態に戻して)から再度アクティベーションする必要があります。

管理コンソールの[管理設定]-[DEP端末設定]-[一括リモートワイプ]から、複数の端末に対して一括でリモートワイプを実行する(p.49)か、iOS端末の[設定]-[一般]-[リセット]-[すべてのコンテンツと設定を削除]から端末をワイプして(工場出荷状態に戻して)ください。

※端末のすべてのデータが削除されます。必要に応じて端末のバックアップを取得してください。

● LanScope Anの残りライセンス数が十分かを確認してください

→ライセンスが足りない場合、アクティベーション途中で実施されるAn構成プロファイルのインストールに失敗します。アクティベーション前に残りライセンス数が十分か確認してください。

残りライセンス数の確認方法、ライセンスを確保する方法については「1-2 DEP機能を利用する前に確認する」(p.8)を参照してください。

● アクティベーションが完了したあと「Anクライアント(アプリ)」「Anクリップ(Anクライアントの登録に必要なファイル)」を自動的に配信したい場合

→管理コンソール側であらかじめ設定が必要です。設定が済んでいるかももう一度確認してください。

アクティベーションの際「An構成プロファイル」(必須プログラム)は自動でインストールされますが、「位置情報取得/メッセージ・アンケート/Jailbreak検知/端末使用者への設定情報開示」機能を利用する場合に必要な「Anクライアント(アプリ)」「Anクリップ(Anクライアントの登録に必要なファイル)」は、設定しなければ自動配信されません。設定手順の詳細は「1-2 DEP機能を利用する前に確認する」(p.8)を参照してください。

◆端末をアクティベーションする

1. 端末を起動してアクティベーション(初期設定)を開始します。アクティベーション開始時に端末に割当てたDEPプロファイルが読み込まれ、その内容に沿って端末をアクティベーションできます。アクティベーション時の各設定画面のイメージはAppleサポートページ(<https://support.apple.com/ja-jp/HT202033/>)から確認できます。

なお、割当てたDEPプロファイルの設定を適用したい場合、下記(※)の項目は「**新しいiPhone(iPad / iPod touch)として設定**」を選択してください。もしくは **DEPプロファイルを作成(p.29)する際に「設定アシスタントでスキップさせる設定項目」の「復元」にチェックを入れてください**(アクティベーション時に該当項目がスキップされ「新しいiPhone(iPad / iPod touch)として設定」を選択した時と同じ状態になります)。

「 iCloudバックアップから復元」「iTunesバックアップから復元」を選択すると、バックアップデータの内容が優先されるため、現在割当てているDEPプロファイルの設定は適用されません。

▼アクティベーション時の設定項目一覧

※iOSのバージョン等により一部異なる場合があります。

- ・ 利用する言語の選択
 - ・ 利用する国・地域の選択
 - ・ キーボードの種類の選択
 - ・ アクティベーション時の通信方法の選択
 - ★ 位置情報サービスの設定
 - ★ 「iPhone・iPadの設定」「Appとデータ」(バックアップから復元するかどうか) ※
 - ・ iPhone・iPad・iPod touchの構成(**An構成プロファイルがインストールされます**)
 - ★ Apple IDの設定
 - ★ 利用規約への同意
 - ★ Touch IDの設定(対応機種のみ)
 - ★ パスコードの設定
 - ★ Siriの設定
 - ★ 診断/使用状況をAppleに送信するかどうかの設定
 - ★ App開発者と情報を共有するかどうかの設定
 - ★ ディスプレイ解像度の設定(標準/拡大 対応機種のみ)
- ★ : DEPプロファイルの設定によりスキップ可能な項目です。

◆注意

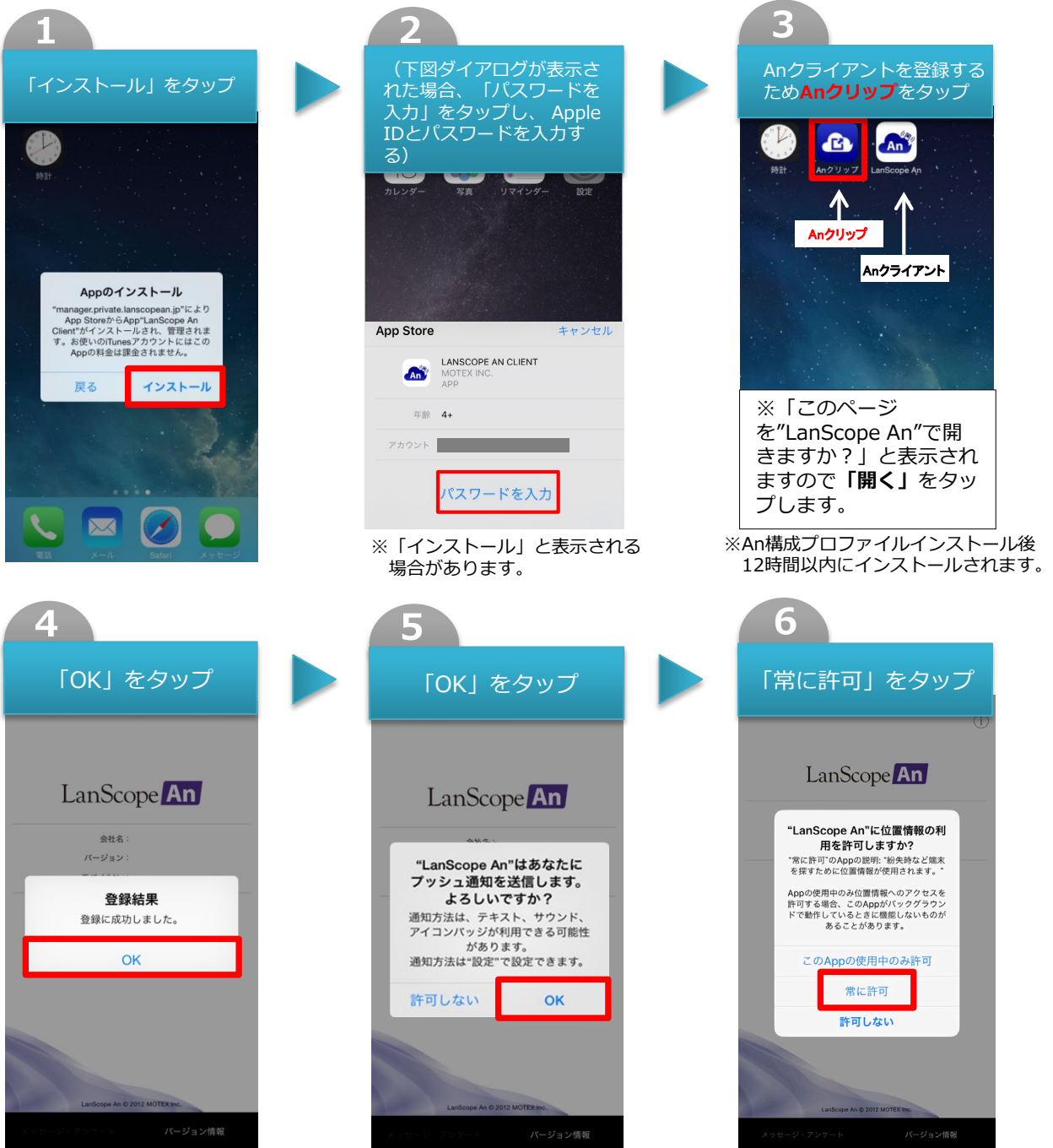
端末のアクティベーション時に**An構成プロファイルのインストールに失敗した場合は「1-2 DEP機能を利用する前に確認する」(p.8)を参照して、残りライセンス数が不足していないかを確認してください。**

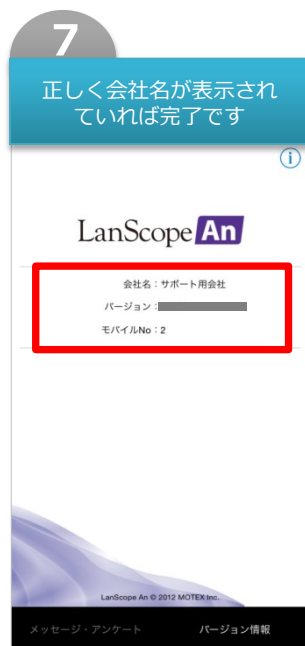
「位置情報取得/メッセージ・アンケート/Jailbreak検知/端末使用者への設定情報開示」機能を利用する(=Anクライアントのインストールが必要な)場合のみ、次の手順を確認します。

2. あらかじめアプリの配信設定を行っていたかどうかで手順が異なります。

●**パターンA**：管理コンソールで「Anクライアント（アプリ）」「Anクリップ（Anクライアントの登録に必要なファイル）」の配信設定（p.10）を行っていた場合、アクティベーション後に次のイベントが発生します。次の手順でAnクライアント（アプリ）をインストールしてください。

[iOS 11以降の場合]





◆ポイント

端末側でインストールをキャンセルした場合

- An構成プロファイルインストールから12時間周期で実施されている、端末からの資産情報収集のタイミングで、再度インストール確認画面が表示されますので「インストール」をタップしてください。
- もしくはApp Storeで「LanScope An Client」と検索するか、次のURLからアクセスしてAnクライアントをインストールしてください。インストール後、項番3以降の手順で登録を実施してください。

▼LanScope An Client(アプリ)のURL – App Store

<https://itunes.apple.com/jp/app/jp.co.motex.lanscope.an.id852951232>

※注意事項

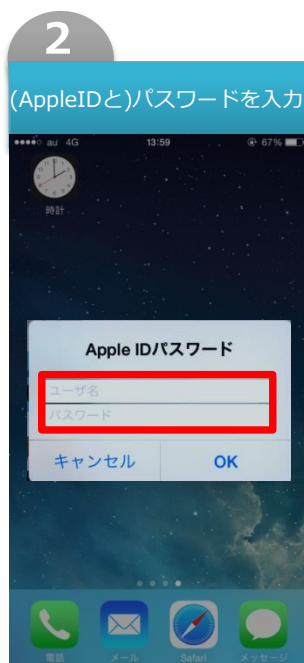
App Storeからインストールする時は「LanScope An Client Ver.3」ではなく、必ず「LanScope An Client」をインストールしてください。アプリアイコンは右図【Anクライアントインストール画面】になります。

- 「メール通知」機能を利用して、端末利用者に上記URLとインストール・登録の手順を通知することも可能です。メールの通知方法は、次ページのパターンBを参照してください。

【Anクライアントインストール画面】

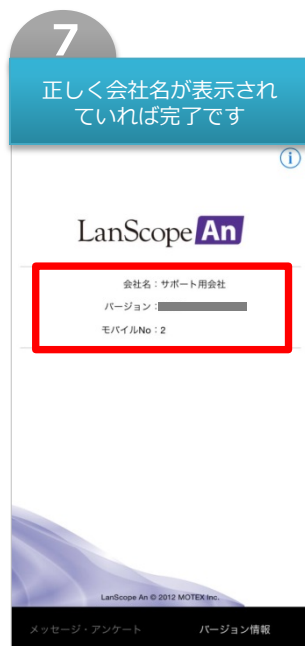


[iOS 11未満の場合] ※画面はiOS 7



※An構成プロファイルインストール後
12時間以内にインストールされます。





◆ポイント

端末側でインストールをキャンセルした場合

- An構成プロファイルインストールから12時間周期で実施されている、端末からの資産情報収集のタイミングで、再度インストール確認画面が表示されますので「インストール」をタップしてください。
- もしくはApp Storeで「LanScope An Client」と検索するか、次のURLからアクセスしてAnクライアントをインストールしてください。インストール後、項番3以降の手順で登録を実施してください。

▼LanScope An Client(アプリ)のURL – App Store

<https://itunes.apple.com/jp/app/jp.co.motex.lanscope.an.id852951232>

※注意事項

App Storeからインストールする時は「LanScope An Client Ver.3」ではなく、必ず「LanScope An Client」をインストールしてください。アプリアイコンは右図【Anクライアントインストール画面】になります。

- 「メール通知」機能を利用して、端末利用者に上記URLとインストール・登録の手順を通知することも可能です。メールの通知方法は、次ページのパターンBを参照してください。

【Anクライアントインストール画面】



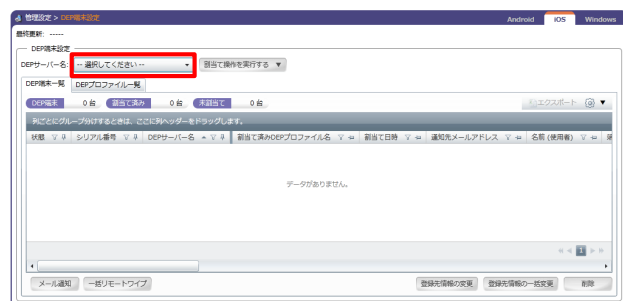


●**パターンB**：管理コンソールで「Anクライアント（アプリ）」の配信設定（p.10）を行っていない場合で、「メール通知」機能を利用してAnクライアントのインストールURLと登録手順を通知したい場合は、次の手順でメール通知を行います。

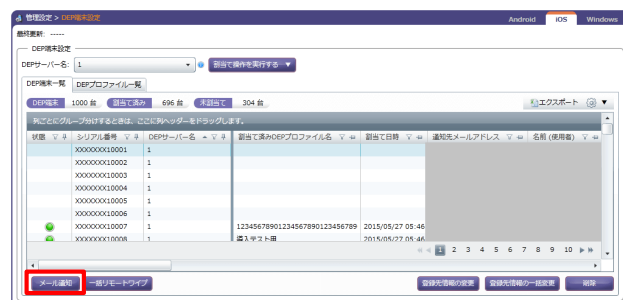
1. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバー名」のプルダウンから、AnクライアントのインストールURLと登録手順を通知したい端末が所属しているDEPサーバーを選択します。

◆注意

すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。

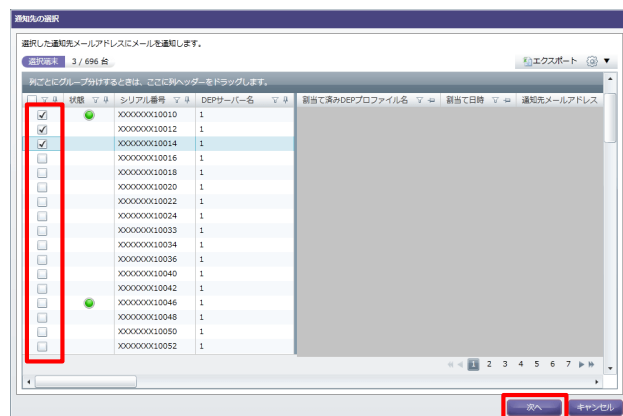


3. 「メール通知」をクリックします。



4. 通知したい端末にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

※「通知先メールアドレス」の情報が登録されている端末のみ表示されます。登録していない場合は「3-1 端末に対して部署などの情報を登録する」(p.24)を参照してメールアドレスを登録してから実施してください。



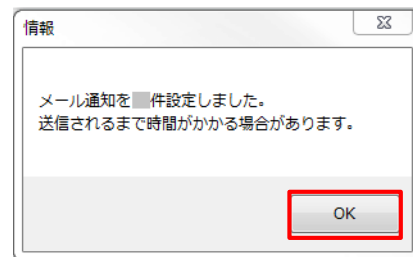
5. 必要に応じて通知内容を編集して「次へ」をクリックします。



6. プレビュー画面が開きます。内容に問題がなければ「送信」をクリックします。



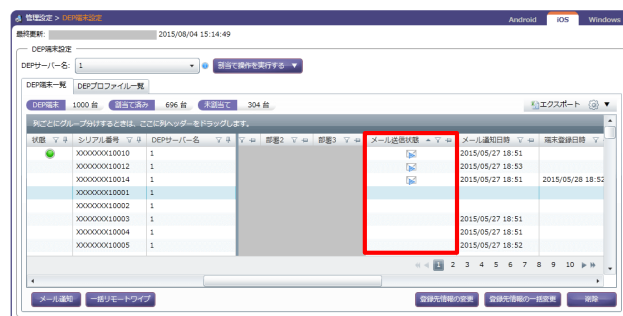
7. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



8. 設定完了後、順次メール通知が行われます。
メール通知が完了したかを確認するには、2.の画面に戻って「メール通知状態」欄を確認します。

※管理コンソール右上の更新ボタンなどで画面を更新してから確認してください。

メールが通知されたあと、端末利用者がメールに記載の手順に従って、Anクライアント(アプリ)のインストール・登録を実施すると完了です。



【メール通知状態アイコン】

アイコン	ステータス
(なし)	メールが送信されていません。
	メール送信待機中です。
	メール送信済みです。
	メール送信に失敗しています。サポートセンターまでお問い合わせください(p.64)。

◆注意

状態アイコンが「メール通知済みです」になっているにも関わらずメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダにメールが振り分けられていないか、お客様環境側でスパムメールとして検知して受信を拒否する状態になっていないかをご確認ください。

●Anクライアント(アプリ)のインストール・登録に失敗した場合：
次の方法で対応してください。

メッセージ	対処方法
登録に失敗しました。	該当端末がLanScope Anから削除されている可能性があります。管理コンソールの[管理設定]-[組織情報変更]に該当端末のアイコンが存在しない場合は、端末にAn構成プロファイルをインストールする必要がありますので、「3-3 端末にDEPプロファイルを割当て」(p.34)以降の手順を確認し、もう一度端末をアクティベーションしてください。その後、再度Anクライアント(アプリ)を登録してください。
サーバとの通信が確立できませんでした。端末の通信状態を確認してください。	端末がネットワークに接続できない、もしくは接続が不安定だったためにAnのマネージャとの通信に失敗した可能性があります。通信環境の良い場所に移動し、端末にインストールされたAnクリップをタップしてください。
ページを開けません。	該当端末にAnクライアントがインストールされていない可能性があります。該当端末の[設定]-[一般]-[使用状況]の[ストレージ]情報、もしくはホーム画面に「LanScope An」がインストールされているか確認してください。インストールされていない場合はApp Storeで「LanScope An Client」を検索してインストールしてください。その後、再度Anクリップをタップしてください。
Anクリップから起動してください。	LanScope Anに登録されていないAnクライアントをタップしている可能性があります。AnクライアントをLanScope Anに登録するためには「Anクリップ」をタップする必要があります。 該当端末のホーム画面に「Anクリップ」が表示されていない場合は、Anクリップが配信されるのを待ってからタップしてください。 ※Anクリップを配信する設定については「1-2 DEP機能を利用する前に確認する - ●LanScope Anの利用に必要なプログラムについて」(p.10)を参照してください。

端末のアクティベーションが完了したかを確認する

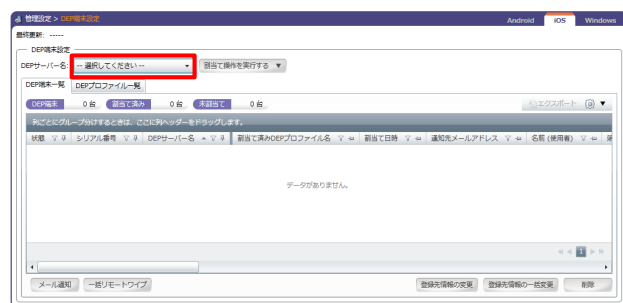


DEP端末のアクティベーションが完了したか、管理コンソールから確認します。アクティベーションを端末利用者に任せていて端末が手元にない場合でも、展開状況を把握することができます。

1. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバー名」のプルダウンメニューから、アクティベーション状況を確認したいDEPサーバーを選択します。

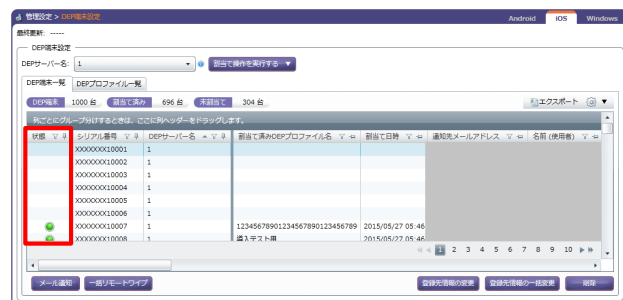
◆注意

すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。







3. 各端末の「状態」欄から、アクティベーションが完了したかを確認します。

アイコンの意味と、次に実施すべき手順については、次ページを参照してください。



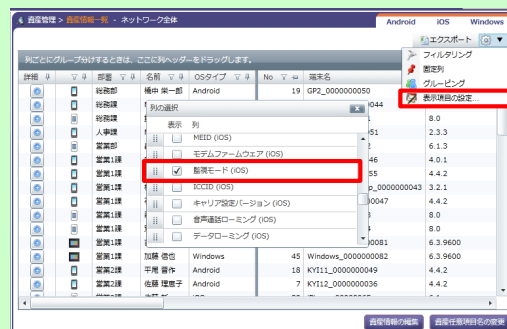
【状態アイコン】

アイコン	アイコンの意味	次に実施すべき手順
(なし)	DEPプロファイルが未割当てです。	DEP機能を利用して該当端末をアクティベーションしたい場合は、「3 DEPプロファイルを割当てて端末をアクティベーションする」(p.23)以降の手順を実施してください。
	ABMサイトから端末が解除されています。	<p>・管理コンソールから端末を削除したい場合は「4-3 ABMサイトで変更・削除した情報を管理コンソールに反映する - ◆DEP端末を削除した場合」(p.57)の手順を実施してください。</p> <p>・再度端末を登録した場合は「2-4 作成したMDMサーバに端末を所属させる - ◆ABMサイトで編集した内容を管理コンソールに反映する」(p.21)以降の手順を実施してください。</p>
	DEPプロファイルが割当てられています。	端末のアクティベーションを実施すると、割当てられているDEPプロファイルにしたがってアクティベーションが行われます。「3-4 端末をアクティベーションする」(p.36)以降の手順を実施してください。
	割当てたDEPプロファイルに沿ったアクティベーション・An構成プロファイルの登録が完了しています。	<p>「位置情報取得/メッセージ・アンケート/Jailbreak検知/端末使用者への設定情報開示」機能を利用する(=Anクライアントのインストールが必要な)場合は、Anクライアントのインストール・登録手順(p.38 項番2)以降の手順を実施してください。</p> <p>上記が不要な場合はすべての手順が完了しています。</p>
	割当てたDEPプロファイルに沿ったアクティベーション・An構成プロファイルの登録 ・Anクライアント(アプリ)の登録が完了しています。	すべての手順が完了しています。

◆ポイント

DEPプロファイルを作成する際に、端末を「監視モード」に設定するかどうかを選択できます(p.30)。端末が「監視モード」に設定されているかを確認したい場合は、[資産管理]-[資産情報一覧]-[(歯車アイコン)表示項目の設定]で「監視モード」にチェックをいれて、項目を追加してください。

- ・ON → 監視モードに設定されています
- ・OFF → 監視モードに設定されていません
- ・ - → Android・Windows端末です
- ・空白 → 情報が未取得です。通常、12時間以内に情報が取得・反映されます。



その他DEP機能の運用方法について

DEP機能の運用に関連する、様々な手順を確認します。

- 4-1 一括リモートワイプを実行する
- 4-2 端末からDEPプロファイルの割当てを解除する
/別のDEPプロファイルを割当てる
- 4-3 ABMサイトで変更・削除した情報を
管理コンソールに反映する
- 4-4 DEPトークンを更新する
- 4-5 DEP利用規約が更新された場合に確認する

guide

4

一括リモートワイプを実行する

4-1

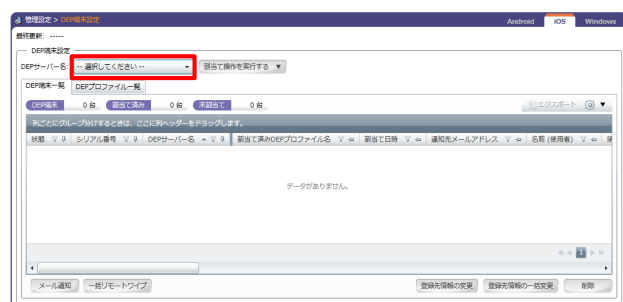


作成したDEPプロファイルにしたがって端末をアクティベーションしたい場合、(まだ一度もアクティベーションしていない場合を除いて)該当の端末をワイプする(工場出荷状態に戻す)必要があります。複数の端末を一括でリモートワイプしたい場合は「一括リモートワイプ」を利用すると便利です。

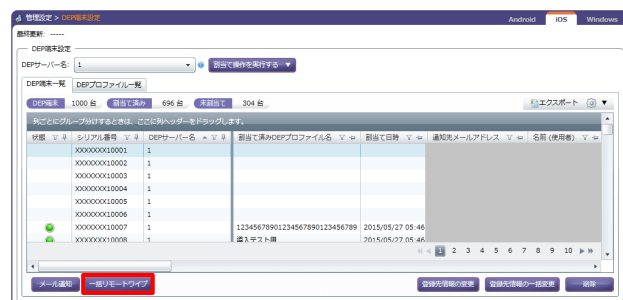
1. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバー名」のプルダウンからリモートワイプしたい端末が所属しているDEPサーバーを選択します。

◆注意

すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。



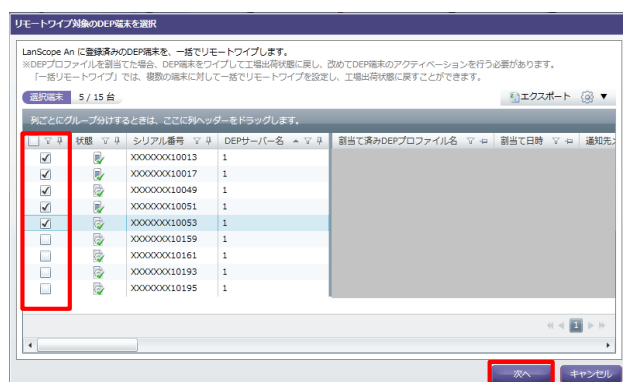
3. 「一括リモートワイプ」をクリックします。



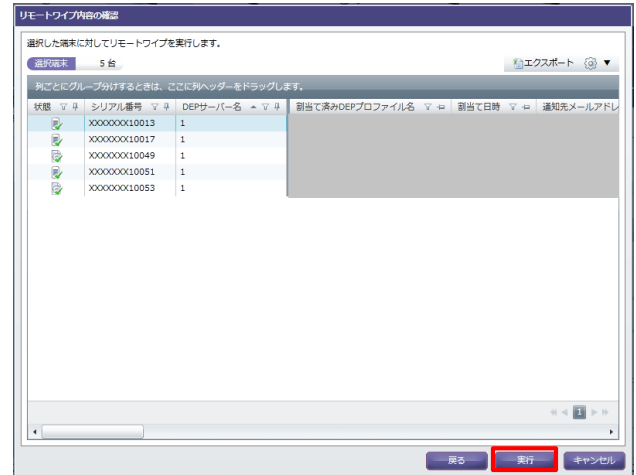
4. リモートワイプしたい(工場出荷状態に戻したい)端末にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

◆ポイント

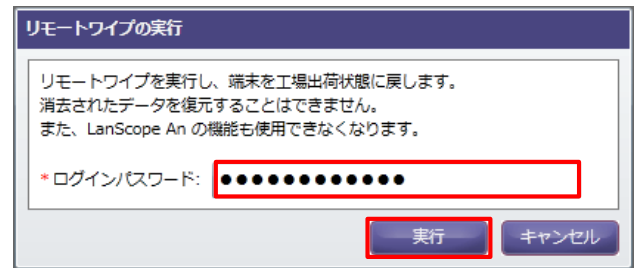
リモートワイプを実行するには、端末にAn構成プロファイルがインストールされている必要があります。



5. リモートワイプの対象となる端末を確認し、問題なければ「実行」をクリックします。



6. 確認画面が表示されます。リモートワイプを実行して問題なければ、管理コンソールのログインパスワードを入力して「実行」をクリックします。



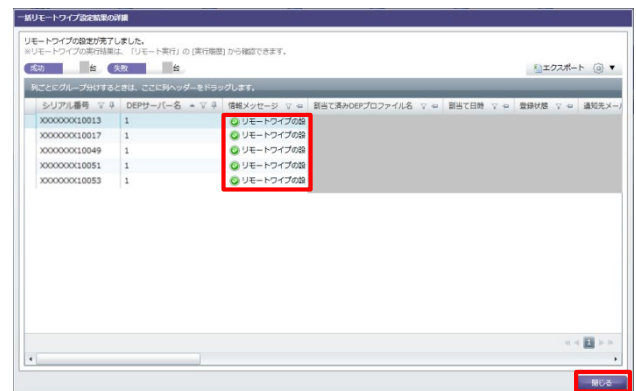
7. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



8. リモートワイプの設定結果が表示されます。設定が完了していることを確認して「閉じる」をクリックします。

端末利用者には、端末がワイプされ次第、アクティベーションを実施するように案内してください。現在割当てられているDEPプロファイルの内容に沿ったアクティベーションを行うことができます。

管理者は「3-5 端末のアクティベーションが完了したかを確認する」(p.46)の手順に従ってアクティベーションの状況を確認できます。



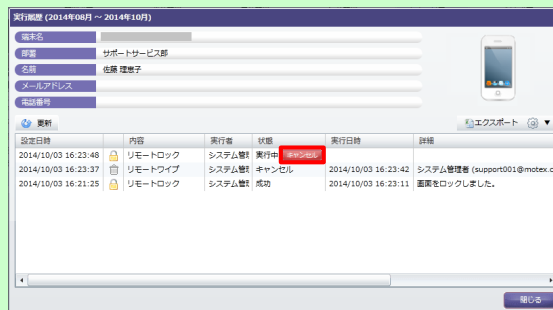
◆ポイント

リモートワイプの実行履歴は、管理コンソールで[セキュリティ]-[リモート実行]をひらき、組織ツリーから端末を選択して「実行履歴」をクリックすることで確認できます。



端末の電源がOFFになっている場合や、通信ができない状態の場合、端末が通信可能な状態になるまで「実行中」や「待機中」(実行中から30秒経過後)になります。

状態が「実行中」や「待機中」の場合、「キャンセル」をクリックすることで、90日間は処理をキャンセルすることも可能です。



端末からDEPプロファイルの割当てを解除する/別のDEPプロファイルを割当てる



次の場合に確認します。

- 端末をDEP機能の管理から外したいなどの理由で、DEPプロファイルの割当てを解除したい場合
→◆DEPプロファイルの割当てを解除する（このページ）
- 端末の利用者が変わったなどの理由で、端末に別のDEPプロファイルを割当ててアクティベーションしなおしたい場合
→◆端末に別のDEPプロファイルを割当てる（p.54）

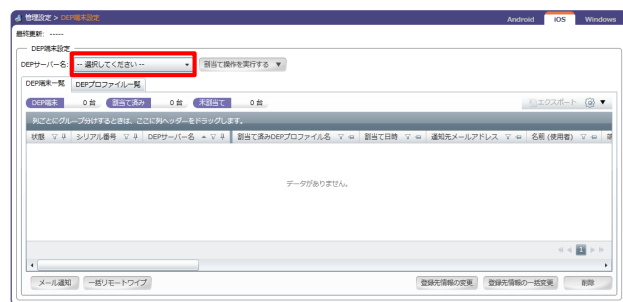
◆DEPプロファイルの割当てを解除する

端末をDEP機能の管理から外したい場合は、次の手順でDEPプロファイルの割当てを解除してから、端末をワイプして(工場出荷状態に戻して)アクティベーションしなおします。

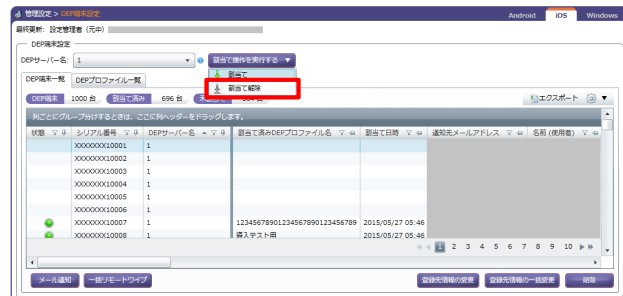
1. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバー名」のプルダウンから、プロファイルの割当てを解除したい端末が所属しているDEPサーバーを選択します。

◆注意

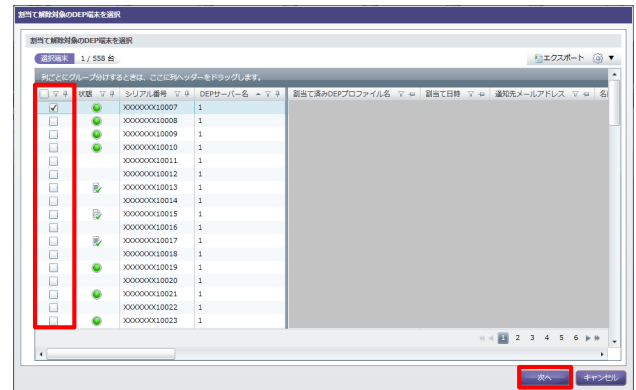
すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。



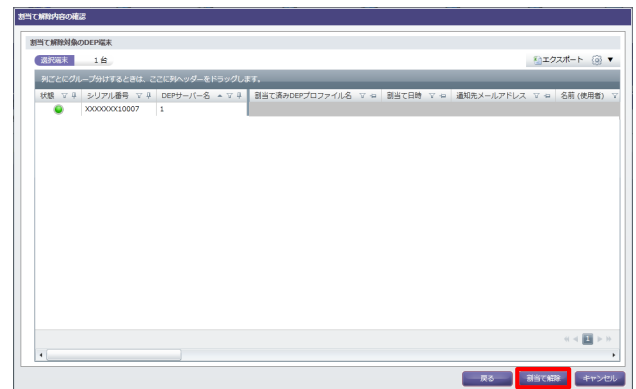
3. 「割当て操作を実行する」をクリックして「割当て解除」をクリックします。



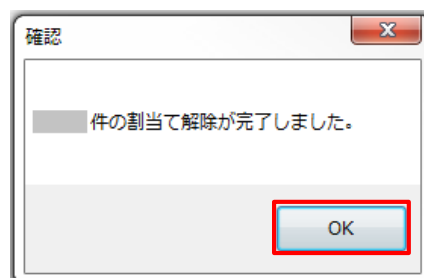
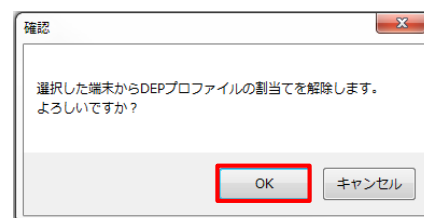
4. DEPプロファイルの割当てを解除したい端末にチェックを入れて「次へ」をクリックします。



5. 「割当て解除内容の確認」が開きます。内容に問題がなければ「割当て解除」をクリックします。

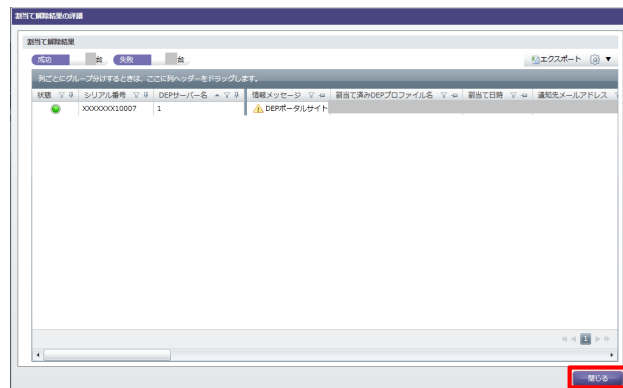


6. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



7. 割当て解除が成功したことを確認して「閉じる」をクリックします。

一括リモートワイプ機能(p.49)などを利用して端末をワイプして(工場出荷状態に戻して)からアクティベーションすることで、通常の(DEPプロファイルに従わない)アクティベーションを実施できます。



◆端末に別のDEPプロファイルを割当てる

端末に別のDEPプロファイルを割当てたい場合は、それぞれ次の手順を実施します。

1. 「3-2 DEPプロファイルを作成する」(p.29)を参照して、DEPプロファイルを作成します。
※既存のDEPプロファイルを割当てる場合はこの手順は不要です。
2. 「3-3 端末にDEPプロファイルを割当てる」(p.34)を参照して、端末にDEPプロファイルを割当てます。端末のDEPプロファイルを解除してから割当てする必要はありません。上書きで割当てることができます。
3. 一括リモートワイプ機能(p.49)などを利用して端末をワイプします(工場出荷状態に戻します)。
4. 「3-4 端末をアクティベーションする」(p.36)を参照して、端末をアクティベーションします。
2で割当てたDEPプロファイルに沿ってアクティベーションを実施することができます。
5. 「3-5 端末のアクティベーションが完了したかを確認する」(p.46)を参照して、アクティベーションが完了したか確認します。

ABMサイトで変更・削除した情報を管理コンソールに反映する

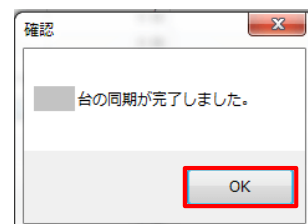
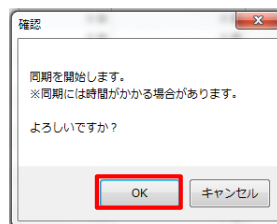
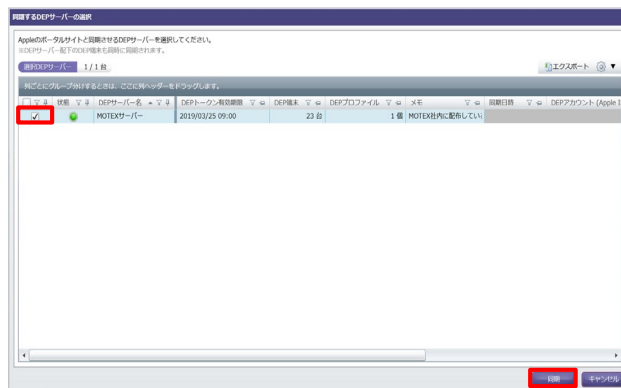
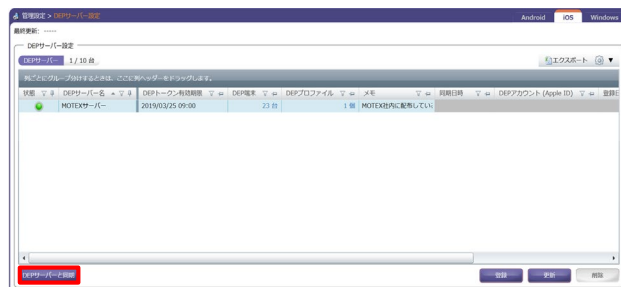


ABMサイトで、端末が所属するDEPサーバー(MDMサーバ)を変更したり、DEPサーバー・DEP端末を削除したりした場合に確認します。

◆DEPサーバーを削除した場合

ABMサイトで、DEPサーバー(MDMサーバ)を削除した場合で、管理コンソール上からも情報を削除したい場合の手順は次のとおりです。

1. 「管理設定」メニューを選択して「DEPサーバー設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバーと同期」をクリックします。
3. ABMサイト上で削除したDEPサーバー(MDMサーバ)にチェックを入れて「同期」をクリックします。
4. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



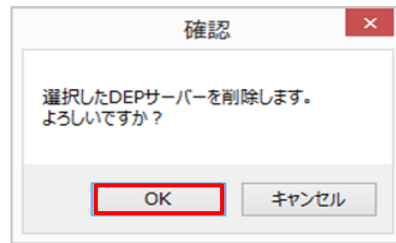
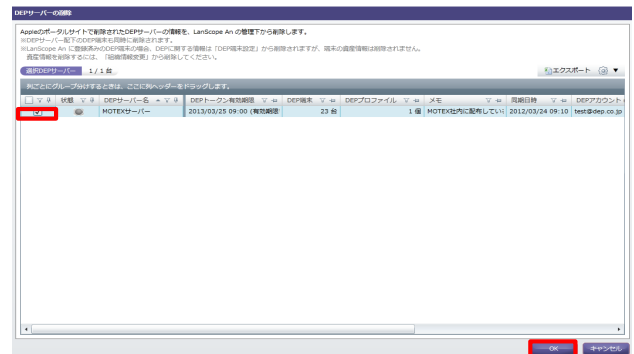
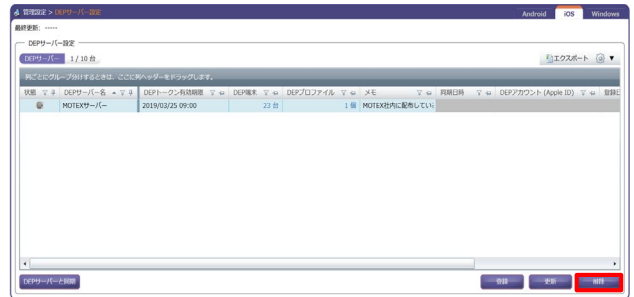
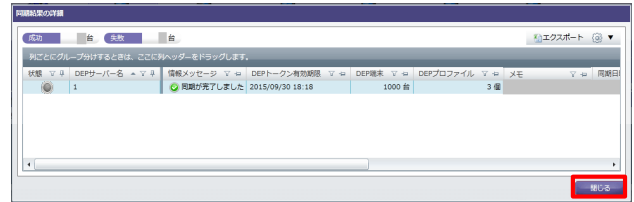
5. 同期の結果を確認して「閉じる」をクリックします。これで「該当のサーバーがABMサイトから削除された」という情報がAnに反映されました。サーバーの状態アイコンが「削除済み」(灰色)に変化します。

※ABMサイト上でDEPサーバー(MDMサーバ)を削除してから間をおかず同期した場合、情報が反映されない場合があります。その場合は最大30分程度時間をあけてから、再度同期を行ってください。

6. 1.の画面で「削除」をクリックします。

7. ABMサイト上で削除したDEPサーバー(MDMサーバ)にチェックを入れて「OK」をクリックします。

8. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



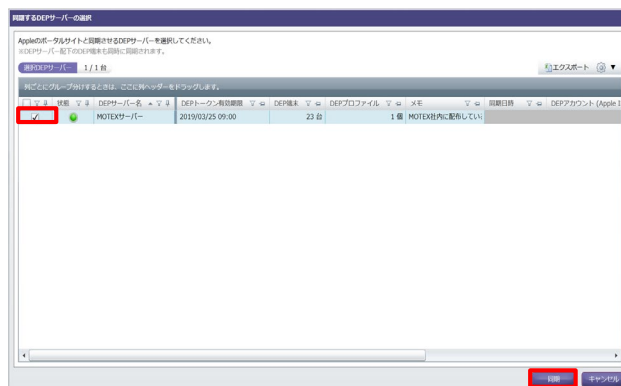
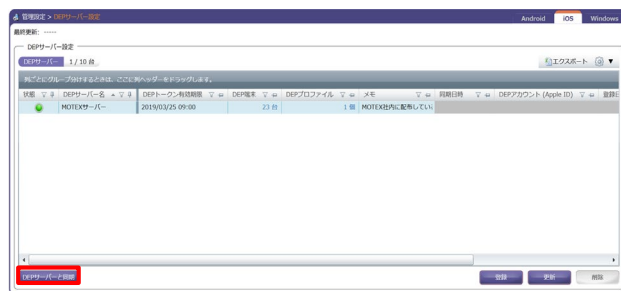
◆注意

- DEPサーバー配下の端末も同時に削除されます。
- LanScope Anに登録済みの端末の場合、DEPに関する情報は「DEP端末設定」から削除されますが、端末の資産・位置などの情報は削除されません。これらの情報が残っているとLanScope Anのライセンスを消費したままになります。管理コンソールから端末の情報を完全に削除してライセンスを確保するには、管理コンソールの[管理設定]-[組織情報変更]で端末を選択して「削除」をクリックしてください。
- 端末へのDEPプロファイルの割当てを解除せずにDEPサーバー(MDMサーバ)を削除した場合、DEPプロファイルの割当てが自動的に解除されます。ABMサイトで端末を再度DEPサーバー(MDMサーバ)に所属させ、DEPプロファイルを割当てる必要があります。

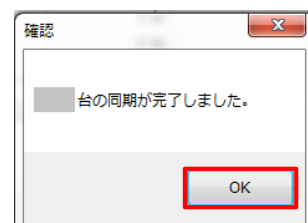
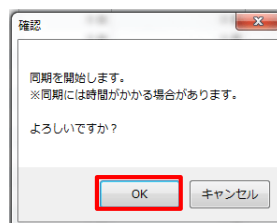
◆DEP端末を削除した場合

ABMサイトで端末を削除した場合、管理コンソール上からも情報を削除したい場合の手順は次のとおりです。

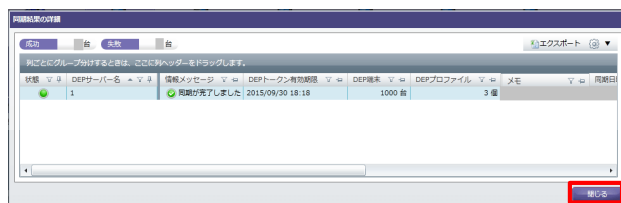
1. 「管理設定」メニューを選択して「DEPサーバー設定」をクリックします。
2. 「DEPサーバーと同期」をクリックします。
3. ABMサイト上で削除した端末が所属するDEPサーバー(MDMサーバ)にチェックを入れて「同期」をクリックします。



4. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



5. 同期の結果を確認して「閉じる」をクリックします。これで「該当の端末がABMサイトから削除された」という情報がAnに反映されました。



※ABMサイト上で端末を削除してから間をおかず同期した場合、情報が反映されない場合があります。その場合は最大30分程度時間をあけてから、再度同期を行ってください。

6. 「管理設定」メニューを選択して「DEP端末設定」をクリックします。

7. 「DEPサーバー名」のプルダウンメニューから、3.で選択したサーバーを選択します。

◆注意

すべてのDEPサーバーを選択すると画面の読み込みに時間がかかる場合があります。

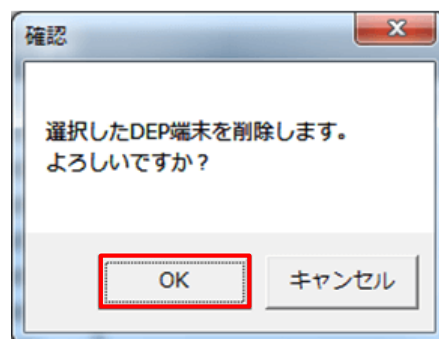
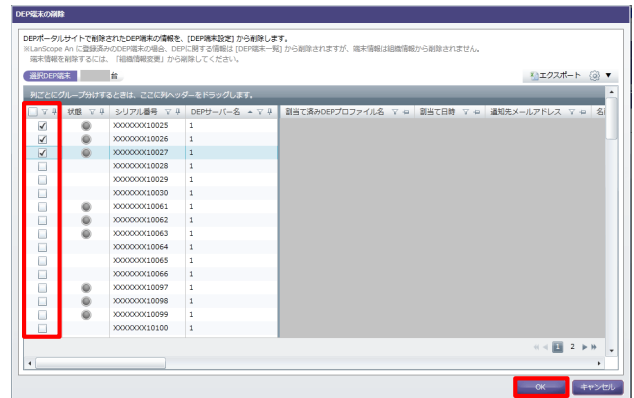
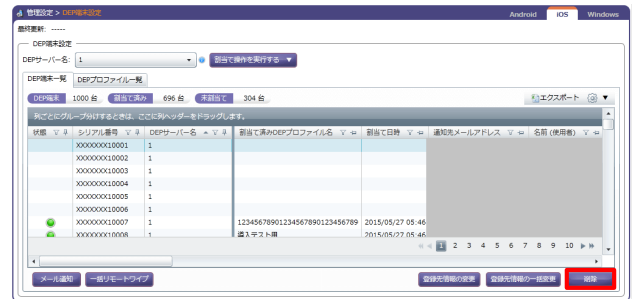
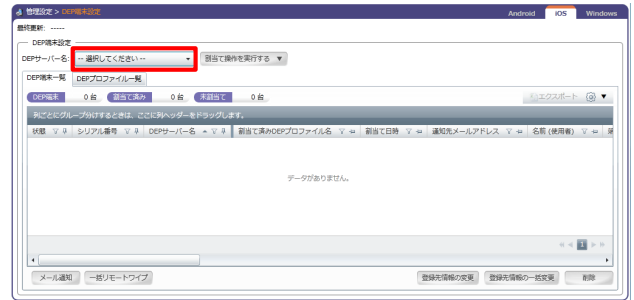
8. 「削除」をクリックします。

9. 削除したい端末にチェックを入れて「OK」をクリックします。

10. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。

これで「DEP端末設定」から端末の情報を削除することができました。

端末がLanScope Anに登録済みの場合、**取得した資産・位置などの情報はまだ削除されていません**。これらの情報が残っているとLanScope Anのライセンスを消費したままになります。削除が必要な場合は、[管理設定]-[組織情報変更]-[変更]から組織ツリーを開き、該当端末を選択した状態で「削除」をクリックして情報を削除してください。



◆端末の所属先DEPサーバーを変更した場合

例：ABMサイトで、MDMサーバAに所属していた端末Xを、MDMサーバBに所属させる操作を行った。

次の操作を実施してください。

1. 次の手順を参照して、ABMサイトと管理コンソールの情報を同期します。
なお、ABMサイトと管理コンソールとで情報を一致させるために、**移動元・移動先両方のDEPサーバー(MDMサーバ)の情報を同期する必要があります**。上記例のケースなら、MDMサーバA・B両方の情報を同期します。

2-4 作成したMDMサーバに端末を所属させる
- ◆ABMサイトで編集した内容を管理コンソールに反映する(p.21)

2. 所属するDEPサーバー(MDMサーバ)を変更すると、DEPプロファイルの割当てが解除されるため、次の手順を参照してDEPプロファイルを割当てなおします。

3-3 端末にDEPプロファイルを割当てする(p.34)

※所属するDEPサーバー(MDMサーバ)を変更して、DEPプロファイルの割当てが解除されても、現在端末に設定されている内容が解除されることはありません。

※DEPプロファイルを割当てなおしたあと、その設定をすぐに端末に反映させたい場合は、3-4以降の章の手順に従って、端末をアクティベーションしなおしてください。現在端末に設定されている内容のまま継続して利用したい場合は、アクティベーションしなおす必要はありません。

DEPトークンを更新する

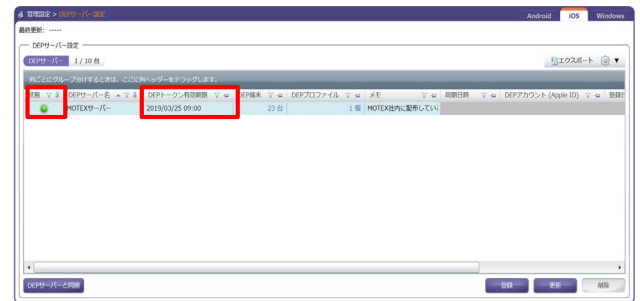
4-4



DEPとの連携のために管理コンソールにアップロードしたDEPトークンの有効期限は1年間です。期限が切れると、端末をアクティベートしてもDEPプロファイルの設定が反映されない(=LanScope Anに登録できない)など、DEP機能が利用できなくなります。期限が切れる前に次の手順で更新してください。尚、Apple Deployment Programs を利用している場合、Apple Business Manager を利用している場合とで手順が異なります。

1. 「管理設定」メニューを選択して「DEPサーバー設定」をクリックします。
2. 「状態」欄のアイコンや「DEPトークン有効期限」欄を確認して、DEPトークンの有効期限が近い、もしくは切れているサーバーがないかを確認します。
※有効期限が近づくか、有効期限が切れると、管理コンソールへのログイン直後にお知らせ(p.18)が表示されます。

更新が必要な場合は次の手順に進みます。

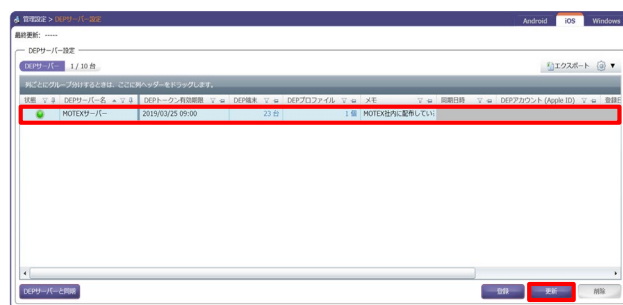


【サーバー状態アイコン】

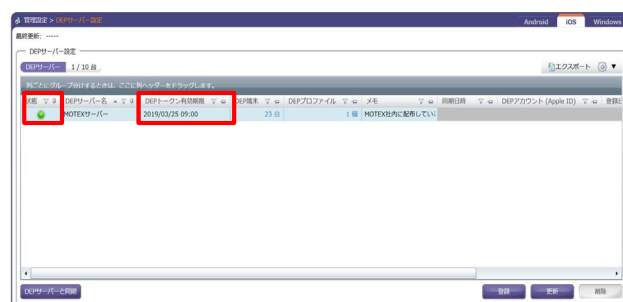
アイコン	ステータス
	有効期限内です。
	有効期限切れまで30日以内です。 ※マウスをかざすと残り日数を確認できます。
	有効期限切れです。
	ABMサイトで削除済みのDEPサーバーです。

■ Apple Deployment Programs を利用している場合

4. DEPポータルサイト
(<http://deploy.apple.com/>) にアクセスし、サインイン・本人確認を実施します。
5. サイドバーの「Device Enrollment Program」をクリックして「サーバの管理」をクリックします。
6. 更新したいDEPサーバー(MDMサーバ)名をクリックします。
7. 「新規トークン作成」をクリックします。
8. 「サーバートークン」をクリックすると「サーバートークン」のダウンロードが始まります。ダウンロードが完了したら「完了」をクリックします。
※過去に取得した同じDEPサーバーのトークンは、不定時間後（数分～数時間後）に使用できなくなります。
9. 取得した新しいDEPトークンをAnにアップロードします。2.の画面をもう一度開き、更新したいDEPサーバーを選択して「更新」をクリックします。
10. 「アップロード」をクリックして、DEPポータルサイトからダウンロードしたDEPトークン (*.p7m) を選択し、「OK」をクリックします。

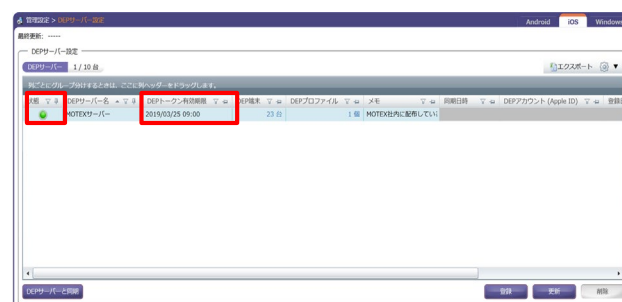
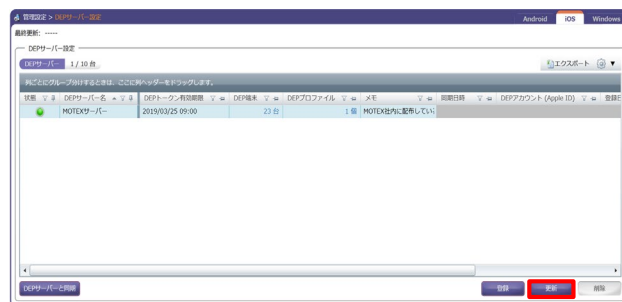


11. 1.の「DEPサーバー設定」画面を確認して「DEPトークン有効期限」欄が更新されたか確認します。



■ Apple Business Manager を利用している場合

4. 更新したいDEPサーバーを選択して「更新」をクリックします。
5. 2-1「パブリックキー証明書をダウンロードする」(p.16)を参照して、パブリックキー証明書をダウンロードします。
6. ABMサイト (<https://business.apple.com>) にアクセスし、サインイン・本人確認を実施します。
7. サイドバーから「設定」をクリックし、DEP トークンを更新する MDM サーバを選択し、画面右手の「編集」をクリックします。
8. 「MDMサーバの設定」より、4.でダウンロードしたパブリックキー証明書をアップロードし、[完了]をクリックします。
9. 7.、8.で選択した MDM サーバより「トークンをダウンロード」をクリックします。
10. 「サーバトークンをダウンロード」をクリックし、任意の場所にダウンロードします。拡張子は「.p7m」です。
※過去に取得した同じDEPサーバーのトークンは、不定時間後（数分～数時間後）に使用できなくなります。
11. 取得した新しいDEPトークンをAnにアップロードします。「DEPサーバーの更新」画面で「アップロード」をクリックして、ABMサイトからダウンロードしたDEPトークン (*.p7m) を選択し、「OK」をクリックします。
12. 1.の「DEPサーバー設定」画面を確認して「DEP トークン有効期限」欄が更新されたか確認します。



DEP利用規約が更新された場合に確認する

「Device Enrollment Program の利用規約が改訂されました。Appleのポータルサイトで改訂された利用規約に同意してください。」と表示される場合に確認します。

DEPサーバーの登録・変更・同期、DEP端末へのDEPプロファイルの割当て・割当て解除など、DEPポータルサイト、またはABMサイトと通信する際に「Device Enrollment Programの利用規約が改定されました。Appleのポータルサイトで改定された利用規約に同意してください」と表示される場合があります。

これは、AppleがDEPに関する利用規約を更新した場合に表示されるメッセージです。引き続きDEP機能を利用するには、**いずれかのサイトの管理者アカウントと、エージェントアカウントを持つお客様全員**が、サイト上で利用規約に同意する必要があります。

DEPポータルサイト、またはABMサイトにログインして、更新された利用規約に同意してください。

▼利用規約に同意しない場合

- エージェントアカウントが同意しない場合、管理者がDEPポータル、ABMサイトにログインすることができません。
- 新規購入端末を自動的にMDMサーバーに割当てるオプションを選択していても割当てられません。
- **端末のアクティベーションに失敗します。**

お問い合わせ先

お問い合わせ先

- 操作方法、トラブル、販売、お取扱いなどのお問い合わせについては、下記のURLをご参照ください。

<http://www.lanscope.jp/an/inquiry/>

- よくあるご質問(FAQ)については下記のURLをご参照ください。

https://faq.motex.co.jp/?site_domain=an

MOTEX

www.motex.co.jp